

五 保健福祉部

生活困窮者自立支援事業費

88, 296

生活困窮者自立支援法に基づき、県が所管する郡部において、相談窓口の設置や住居確保給付金の支給など、各種事業を実施することにより、生活困窮者の早期自立を支援する。

- 1 自立相談支援事業(国3/4、県1/4)
- 2 住居確保給付金支給事業(国3/4、県1/4)
- 3 一時生活支援事業(国2/3、県1/3)
- 4 就労準備支援事業(国2/3、県1/3)
- 5 家計改善支援事業(国1/2、県1/2)
- 6 若者学習サポート事業(国1/2、県1/2)
- 7 市町村支援事業(国1/2、県1/2)

重度心身障がい者(児)医療費公費負担事業費

1, 608, 935

重度心身障がい者(児)の医療費の公費負担に係る経費

- 1 実施主体 市町
- 2 対象者 身体障害者手帳所持者(1～2級) 知的障がい者(IQ35以下)
重複障がい者(身体障害者手帳3～6級かつIQ50以下)
- 3 補助率 中核市 県1/5(市4/5) その他市町 県1/2(市町1/2)

心身障害者扶養共済事業費

1, 267, 049

心身障害者の保護者の死亡後等に心身障害者に年金を支給する心身障害者扶養共済制度の運営及び加入者に対する掛金助成

- 1 独立行政法人福祉医療機構支払保険料
(1)保険料負担金(月額5,600～23,300円) (2)公費負担金(国1/2、県1/2)
- 2 年金等給付金
(1)年金(月額一口2万円) (2)弔慰金(一口3～15万円) (3)脱退一時金(一口4.5～15万円)
- 3 加入者掛金補助金(補助率 県1/2～2/3)

更生医療費等負担金

561, 998

身体障がい者に対する更生医療費の支給及び療養介護医療費の支給等

- 1 実施主体 市町
- 2 更生医療費 人工関節置換、ペースメーカー埋込、人工透析、肝臓移植 等
- 3 療養介護医療費 医学的管理下で療養介護サービスを受ける障がい者等に対して行われる医療
- 4 負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)

障害者介護給付費等負担金

8, 036, 434

介護給付費(訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス)、訓練等給付費、特定障害者特別給付費、補装具費等の一部負担

- 1 実施主体 市町
- 2 負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)

地域生活支援事業費補助金

221, 449

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業のうち市町事業に対する経費の一部補助

- 1 実施主体 市町
- 2 事業内容
(1)地域生活支援事業
①必須事業 理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業、相談支援事業 等
②任意事業 日常生活支援、社会参加支援 等
(2)地域生活支援促進事業
①市町村地域生活支援促進事業 障害者虐待防止対策支援事業 等
②特別促進事業
- 3 負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)

障がい者工賃向上計画支援事業費

8, 286

障がい者工賃向上計画に基づき、障害福祉サービスを提供する事業所へのアドバイザー派遣など、工賃向上のための支援を行う。

- 1 実施主体 県(一部委託)
- 2 事業内容 工賃向上支援アドバイザー及び技術支援員の派遣、事業所職員人材育成
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

介護給付費負担金

20,949,007

介護保険法に基づく介護給付及び予防給付に要する経費の一部を負担する。

1 実施主体 市町

2 介護保険制度全体の財源構成

介護給付費及び予防給付費から利用者負担を除いた額を概ね次の割合で負担

50% - 公費

27% - 2号被保険者(40~64歳)の保険料

23% - 1号被保険者(65歳以上)の保険料

3 公費の負担区分

負担区分	国	県	市町
施設等給付費	20%	17.5%	12.5%
その他給付費	25%	12.5%	12.5%

軽費老人ホーム事務費補助金

667,582

1 事業主体 35施設(A型 1施設 ケアハウス 34施設(中核市所在施設、公立施設を除く))

2 年間入所見込 延べ12,192人

3 補助対象経費 利用料[生活費(食費など)、管理費(部屋代)及び事務費(人件費など)]のうち事務費を減免した額(本人徴収額を控除)

介護保険地域支援事業交付金

1,256,198

市町が実施する介護予防に資する事業等に対し交付金を交付する。

1 交付先 市町

2 対象事業 (1)介護予防・日常生活支援総合事業
(2)包括的支援事業(地域包括支援センター運営)
(3)包括的支援事業(社会保障充実分)
(4)任意事業

3 負担区分

負担区分	保険料	国	県	市町
介護予防・日常生活支援総合事業	50%	25%	12.5%	12.5%
包括的支援事業、任意事業	23%	38.5%	19.25%	19.25%

○ 低所得者介護保険料軽減負担金

664,456

市町が実施する低所得者の保険料軽減に必要な経費の一部を負担する。

1 交付先 市町

2 対象者 生活保護被保護者、世帯全員が市町村民税非課税かつ本人年金収入80万円以下等

3 負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)

後期高齢者医療公費負担事業費

17,354,714

1 交付先 県後期高齢者医療広域連合

2 対象者 75歳以上の者、65~74歳の障害認定者。ただし、現役並み所得者を除く。

3 負担区分 県1/12(国3/12、市町1/12、国調整交付金1/12、支援金39/100、広域連合11/100)

後期高齢者医療保険基盤安定事業費

4,011,995

後期高齢者医療保険財政の安定化を図るため、低所得者及び被用者保険被扶養者であった被保険者の保険料軽減額の一部を負担する。

1 交付先 市町

2 対象経費 保険料軽減相当額

3 負担区分 県3/4(市町1/4)

後期高齢者医療高額医療費負担金

908,823

1 交付先 県後期高齢者医療広域連合

2 対象経費 1件が80万円を超える高額医療費に一定割合を乗じた額

3 負担区分 県1/4(国1/4、広域連合1/2)

障がい者職業生活支援事業費

44, 370

社会福祉法人等に委託して実施する障害者就業・生活支援センター事業等に要する経費

- 1 実施主体 県(委託)
- 2 設置数 6か所(6障がい保健福祉圏域に各1か所設置)
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

国民健康保険保険基盤安定事業費

5, 056, 707

市町の国民健康保険財政の安定化を図るため、低所得者層に対する保険料軽減額等を負担する。

- 1 交付先 市町
- 2 対象経費 国民健康保険料(税)軽減相当分(県3/4(市町1/4))
低所得者数に応じた保険者支援分(県1/4(国1/2、市町1/4))

児童福祉施設入所措置費

3, 003, 662

児童福祉法に基づき、児童福祉施設に入所又は委託した児童の保護を図るための経費

- 2 知事措置分 2 市町長措置分(中核市除く)
- 児童養護施設など 42施設 母子生活支援施設など 7施設
- 負担区分 国1/2、県1/2 負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)

愛媛母子生活支援センター運営費

42, 424

母子生活支援施設「愛媛母子生活支援センター」の管理運営及び事業に要する経費

- 1 指定管理者 (福)県社会福祉事業団
- 2 定員 20世帯
- 3 主な業務 入所者の保護及び生活指導並びに生活支援に関する業務
- 4 負担区分 国1/2、県1/2

障がい児入所給付費等負担金

1, 907, 942

児童福祉法に基づき、障害児入所施設等と入所の利用契約を行った又は入所措置された児童への入所支援に要する経費及び市町が支給した障害児通所給付費等への一部負担

- 1 県実施分 2 市町実施分
- 障害児入所施設など 対象91人 児童発達支援など 対象7,447人
- 負担区分 国1/2、県1/2 負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)

ひとり親家庭医療費公費負担事業費

466, 339

ひとり親家庭の父母及び児童等の医療費の公費負担に係る経費

- 1 実施主体 市町
- 2 対象者 ひとり親家庭の父母と児童等
- 3 補助率 中核市 県1/5(市4/5) その他市町 県1/2(市町1/2)

児童扶養手当支給事業費

586, 595

1 支給対象者 父又は母と生計を同じくしない児童を監護している母又は父若しくは養育者(町在住者)

- 2 手当月額 児童1人 全部支給:42,910円、一部支給:10,120円~42,900円
- 児童2人目 10,140円加算
(一部支給:5,070円~10,130円加算)
- 児童3人目以降 6,080円加算
(一部支給:3,040円~6,070円加算)
- 1人につき

- 3 負担区分 国1/3、県2/3

保育施設等運営費負担金

6, 489, 021

子ども・子育て支援新制度及び幼児教育・保育の無償化(R元年10月~)に基づき、保育所等を利用する児童に要する経費の一部を負担

- 1 実施主体 市町
- 2 事業内容 (1)施設型給付 保育所、認定こども園、幼稚園
(2)地域型保育給付 家庭的保育、小規模保育、事業所内保育等
(3)子育て支援施設等利用給付 幼稚園(私学助成)、認可外保育施設、一時預かり等
(4)幼児教育・保育無償化円滑化事業 無償化に係る事務費等
- 3 負担区分 地方単独費用部分 県1/2(市町1/2) 幼児教育・保育無償化円滑化事業 国10/10
その他 県1/4(国1/2、市町1/4)

子育て家庭支援事業費 1, 281, 222

子ども・子育て支援新制度に基づき、市町が地域の実情に応じて実施する地域子ども・子育て支援事業に要する経費の一部補助

- 1 実施主体 市町
- 2 事業内容 地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育事業、放課後児童健全育成事業など
- 3 負担区分 県1/3(国1/3、市町1/3)

子ども療育センター運営費 811, 968

地域療育の拠点として整備した子ども療育センターの運営に要する経費

- 1 場 所 東温市田窪
- 2 施設概要 障害児入所施設(重症心身障がい児、肢体不自由児)、一般病床、児童発達支援事業(重症心身障がい児)等
- 3 定 員 入所90人(障害児入所施設(重症心身障がい児40人、肢体不自由児40人)、一般病床10人)、ショートステイ専用ベッド10床、児童発達支援事業(重症心身障がい児15人)等

発達障がい者支援センター運営費 18, 827

自閉症等の発達障がいを有する障がい児(者)に対する相談、発達及び就労支援等を行う拠点施設として設置した発達障がい者支援センターの運営に要する経費

- 1 場 所 東温市田窪 子ども療育センター内
- 2 事業内容 ・発達障がい児(者)及び家族等への相談、発達及び就労支援
・発達障がい者支援センター連絡協議会開催
・ワンストップ相談対応市町職員基礎研修の開催等
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

児童手当制度実施事業費 3, 112, 341

- 1 支給対象 中学校修了までの児童を養育している者
- 2 支 給 額 ・3歳未満 : 15,000円
(月額1人当たり) ・3歳～小学校修了前(第1子、第2子) : 10,000円 (第3子以降): 15,000円
・中学生 : 10,000円
・特例給付(所得制限世帯) : 5,000円
- 3 負担区分

対象児童	区 分	国	事業主	県	市町
3歳未満	被用者	16/45	7/15	4/45	4/45
	非被用者	2/3	—	1/6	1/6
3歳～ 小学校修了前	第1子、第2子	2/3	—	1/6	1/6
	第3子以降	2/3	—	1/6	1/6
中 学 生		2/3	—	1/6	1/6
特例給付(所得制限世帯)		2/3	—	1/6	1/6

扶助費 2, 539, 527

- 1 扶助費(国3/4、県1/4)
生活扶助、住宅扶助、医療扶助など
- 2 就労自立給付金(国3/4、県1/4)
- 3 進学準備給付金(国3/4、県1/4)
- 4 保護施設事務費負担金(国3/4、県1/4)
- 5 生活保護費等負担金(住所不定者分)(中核市除く)(県1/4(国3/4))
- 6 被保護者就労支援事業費(国3/4、県1/4)
- 7 被保護者就労準備支援事業費(国2/3、県1/3)
- 8 被保護者健康管理支援事業費(2年4月～12月 国10/10、3年1月～ 国3/4、県1/4)

被爆者対策費 271, 967

- 1 医療特別手当等支給費(国10/10、介護手当のみ国8/10、県2/10)
- 2 被爆者相談事業費(国1/2、県1/2) 委託先: 県原爆被害者の会
- 3 健康診断費(国10/10)
- 4 被爆者介護保険等利用助成事業費(国1/2、県1/2)
被爆者が介護保険サービス等を利用する際の利用者負担分を助成
- 5 被爆二世健康診断事業費(国委託)

乳幼児医療給付費	1, 014, 352
乳幼児の医療費の公費負担に係る経費	
1 実施主体	市町
2 対象者	就学前の乳幼児
3 補助率	中核市 県3/8(市5/8) その他市町 県1/2(市町1/2)
不妊治療助成事業費	141, 590
不妊治療に要する費用の一部を助成するための経費	
1 実施主体	県
2 対象治療法	体外受精又は顕微授精
3 対象者	対象治療法以外の治療法によっては妊娠の見込みが極めて少ないと医師に診断された戸籍上の夫婦
4 負担区分	国1/2、県1/2
小児慢性特定疾病対策費	304, 633
1 小児慢性特定疾病医療費(中核市除く)(国1/2、県1/2)	
(1) 対象者 厚生労働大臣が定める慢性疾患にかかっている18歳未満の児童	
(2) 対象疾患 悪性新生物等16疾患群 819疾病	
2 小児慢性特定疾病審査会 委員5人 年16回 (国1/2、県1/2)	
3 指定医研修会開催経費 (国1/2、県1/2)	
4 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業(市分:国1/2(市1/2)・町分:国1/2、県1/4(町1/4))	
結核医療費	19, 762
1 結核入院患者医療費 (国3/4、県1/4)	
2 結核一般患者医療費 (国1/2、県1/2)	
特定疾患対策費	3, 785
1 特定疾患治療研究事業	
スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎、重症急性膵炎、プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)の治療研究促進に要する経費	
2 負担区分 スモン(国10/10)	
難治性肝炎のうち劇症肝炎等3疾患(国1/2、県1/2)	
予防接種健康被害者救済給付費	14, 887
1 実施主体 市町	
2 給付費補助金(国1/2、県1/4(市町1/4))	
対象者数 4人	
3 調査費補助金(国1/2、県1/4(市町1/4))	
調査委員会(市町に設置) 年4回	
肝炎治療特別促進事業費	299, 700
1 B型・C型肝炎患者に対する抗ウイルス治療に係る医療費助成	
(1)助成対象医療費	
・C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎等に対するインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療	
・B型肝炎ウイルスによる慢性肝疾患に対する核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療	
(2)助成期間	
・核酸アナログ製剤治療、インターフェロン治療(原則1年間(一部延長等あり))	
・インターフェロンフリー治療(2~6か月)	
2 肝がん・重度肝硬変治療助成	
3 肝炎患者等重症化予防推進事業	
4 負担区分 国1/2、県1/2	
難病対策費	2, 470, 998
1 難病医療費	
原因不明で治療方法の確立していない難病のうち、国が指定した指定難病医療費の公費負担に係る経費	
・対象疾患 球脊髄性筋委縮症等333疾病	
2 指定難病審査会 委員22人 年21回	
3 指定難病患者情報提供事業	
4 指定医研修会開催経費	
5 負担区分 国1/2、県1/2	

精神障害者医療費

2, 970, 267

精神保健福祉法に基づく精神障害者の措置入院及び障害者総合支援法に基づく自立支援医療費の公費負担に係る経費

- 1 措置入院費(国3/4、県1/4)
- 2 自立支援医療費(国1/2、県1/2)
- 3 入院患者定期病状等報告書料

精神障がい者地域移行支援事業費

6, 628

受入条件が整えば地域移行可能な入院・入所している精神障がい者に対し、円滑な地域移行を図るための支援を行う。

- 1 委託実施分 松山圏域:松山市へ委託 宇和島圏域:(公財)正光会へ委託
新居浜圏域:(福)花咲会に一部委託
- 2 保健所実施分 松山・宇和島圏域以外の4障がい保健福祉圏域
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

総合社会福祉会館管理運営費

60, 170

総合社会福祉会館の管理運営及び事業に要する経費

- 1 場 所 松山市持田町三丁目8番15号
- 2 施設概要 ボランティアセンター、福祉人材センター、介護実習・普及センター等
延べ床面積5,510.19㎡
- 3 指定管理者 県社会福祉協議会
- 4 主な業務 (1)介護実習・普及センター業務
(2)施設等の利用・維持管理に関する業務

視聴覚福祉センター運営費

126, 484

視聴覚福祉センターの管理運営及び事業に要する経費

- 1 場 所 松山市本町6丁目11番5号
- 2 指定管理者 (福)県社会福祉事業団
- 3 主な業務 (1)視聴覚障がい者に対する情報の提供、各種相談等
(2)中途視覚障がい者生活訓練センター業務
(3)ボランティア養成・交流活動促進
(4)視聴覚障がい者文化活動支援

えひめこどもの城運営費

205, 805

児童厚生施設「えひめこどもの城」の管理運営及び事業に要する経費

- 1 場 所 松山市西野町及び砥部町宮内にまたがる区域
- 2 施設概要 体験施設 31.2ha
①こどものまちゾーン 3.9ha ④冒険の丘ゾーン 8.7ha
②イベント広場ゾーン 2.0ha ⑤ふれあいの森ゾーン 13.8ha
③創造の丘ゾーン 2.8ha
- 3 指定管理者 伊予鉄総合企画(株)
- 4 主な業務 (1)体験機会提供業務 (4)研究養成業務
(2)遊具運行管理業務 (5)自主企画業務
(3)活動支援業務

介護基盤整備事業費

781, 121

介護施設・地域介護拠点等の整備を行う。

- 1 実施主体 市町
- 2 事業内容 地域密着型特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の整備
(地域医療介護総合確保基金を充当)

○ 障がい福祉施設整備事業費

865, 475

実施主体	施設種別	施設数	整備区分	負担区分
社会福祉法人等	共同生活援助等	8か所	新築・大規模修繕等	国2/3 県1/3

○ 児童福祉施設等整備事業費

230, 900

1 放課後児童クラブ整備事業

(1)子ども・子育て支援整備交付金

実施主体	施設数	内 容	負担区分
市 町	6か所	創設	県1/6(国2/3) (実施主体1/6)

(2)子ども・子育て支援交付金(放課後こども環境整備事業)

①放課後児童クラブ設置促進事業

実施主体	施設数	内 容	負担区分
市 町	3か所	内装改修及び備品購入	県1/3(国1/3) (実施主体1/3)

②放課後児童クラブ環境改善事業

実施主体	施設数	内 容	負担区分
市 町	15か所	備品購入	県1/3(国1/3) (実施主体1/3)

2 児童養護施設等整備事業

(1)次世代育成支援対策施設整備事業

対象施設等	施設数	内 容	負担区分
児童養護施設	1か所	創設	国:定額、県:国補助額の1/2
児童自立支援施設	1か所	分校・分教室のエアコン設置	国1/2、県1/2

(2)児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業

対象施設等	施設数	内 容	負担区分
ファミリーホーム	1か所	新規開設備品購入	国1/2、県1/2
自立援助ホーム	1か所	新規開設改修・備品購入	
里親	1世帯	浴室改修	

認定こども園施設等整備事業費

266, 750

認定こども園への移行や新設のために必要な施設整備等を支援し、幼児教育の質の向上を図る。

1 認定こども園施設整備

対象施設	施設数	内 容	負担区分
認定こども園 (移行予定)	1園	改築	国1/2(市町1/4) (事業者1/4)

2 教育支援体制整備

(1)幼児教育の質の向上のための緊急環境整備

対象施設	施設数	内 容	負担区分
認定こども園	23園	遊具、運動用具、教具等の整備	国1/2(事業者1/2)
上記以外の幼稚園	16園		国1/3(事業者2/3)

(2)園務改善のためのICT化支援

対象施設	施設数	内 容	負担区分
幼稚園	13園	園務改善支援システムの導入等	国3/4(事業者1/4)

○ えひめこどもの城施設整備費

274, 903

とべ動物園との連携強化を含めたえひめこどもの城魅力向上戦略に基づき、エリア全体の魅力と集客力を向上させるため、大型遊具等の計画的な整備に取り組む。

1 ジップラインの整備

(1)内 容 10～20歳代の若者をターゲットにえひめこどもの城ととべ動物園を結ぶジップライン(2コース)の整備

(2)負担区分 国1/2、県1/2

2 てっぺんとりで(イベントスペース)の改修

内 容 旧サイクルモノレールのプラットフォームを改修し、ジップラインの出発拠点として活用するほか、集客力の高いイベントスペースとして整備

3 てんとう虫のモノレールの改修

(1)内 容 ジップラインの出発拠点となるてっぺんとりでへの円滑な移動を促進するための改修

(2)負担区分 国1/3、県2/3

(森林環境保全基金を充当)

◎ えひめこどもの城污水処理施設改修費

16, 030

えひめこどもの城の経年劣化が著しい污水処理施設を改修する。

1 内 容 污水処理施設の中空糸膜、微細目スクリーン及び吸引ポンプの取替等

2 負担区分 国1/3、県2/3

○ 医療施設設備整備事業費

1, 105, 037

1 医療施設の近代化に係る施設整備(交付金)

施設名	所在地	整備概要	負担区分
松山赤十字病院	松山市	診察室等、CCU(6床) 27年度着工 2年度完成	国1/3 (事業者2/3)
		小児専用病棟 病床数30床 30年度着工 2年度完成	
		備蓄倉庫1か所 30年度着工 3年度完成	
		受水槽2か所 30年度着工 3年度完成	
		特殊病室(無菌室1か所) 30年度着工 2年度完成	
長谷川病院	四国中央市	耐震補強 30年度着工 3年度完成	国1/2 (事業者1/2)
		耐震補強(増改築) 元年度着工 2年度完成	

2 医療機関の近代化に係る施設整備(基金)

施設名	所在地	整備概要	負担区分
松山赤十字病院	松山市	全面建替え コンクリート充填鋼管構造(免震構造)10階建 27年度着工 3年度完成	県1/3 (事業者2/3)

3 医療機関が実施するスプリンクラー等整備

区分	施設数	整備概要	負担区分
病院	2か所	通常型1か所、パッケージ型自動消火設備1か所	国10/10
有床診療所	4か所	通常型1か所、パッケージ型自動消火設備3か所	

4 感染症指定医療機関整備

施設名	所在地	整備概要	負担区分
松山赤十字病院	松山市	感染症病床3床 30年度着工 2年度完成	国1/2、県1/2
県立新居浜病院	新居浜市	感染症病床2床 元年度着工 3年度完成	

(地域医療介護総合確保基金を充当)

医療施設設備整備事業費

71, 356

1 医療施設等設備整備費補助金

施設名	所在地	整備概要	負担区分
県立新居浜病院	新居浜市	デジタルX線システム	国1/2 (事業者1/2)

2 医療提供体制推進事業費補助金

施設名	所在地	整備概要	負担区分
済生会松山病院	松山市	超音波画像診断装置	国1/3、県1/3 (事業者1/3)
愛媛大学医学部 附属病院	東温市	開放型保育器、閉鎖型保育器、新生児用人工呼吸器、汎用人工呼吸器、加温加湿器等	
	東温市	ベッドサイドモニタ、大動脈内バルーンポンプ、経皮的心肺補助システム	
松山記念病院	松山市	広域災害・救急医療情報システム及び災害時診療概況報告システムの端末等	

○ 病床機能分化連携基盤整備事業費

93, 120

病床の機能分化・連携や地域医療ネットワーク基盤整備の推進を図るための施設・設備整備を行う。

1 病床の機能分化・連携を推進する基盤整備

施設名	所在地	整備概要	負担区分
四国がんセンター	松山市	エキスパートナース室、職員休憩スペース、図書コーナーの整備	県1/2 (事業者1/2)
県立新居浜病院	新居浜市	救命救急センターの初療室、ICU、GCUの増室・増床に伴う医療機器の整備	

2 ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備

施設名	所在地	整備概要	負担区分
西予市立 西予市民病院 野村病院	西予市	地域医療連携ネットワークシステムの整備	県1/2 (事業者1/2)

(地域医療介護総合確保基金を充当)

◎ **口腔保健センター整備事業費** 48, 247

高齢化の進行に伴い需要が増加する在宅歯科医療の拠点となる施設整備を行う。

施設名	所在地	整備概要	負担区分
愛媛県 口腔保健センター	松山市	建替えに伴う施設更新 2年7月～3年3月	県1/2 (事業者1/2)

(地域医療介護総合確保基金を充当)

◎ **歯科衛生士養成所施設設備整備事業費** 58, 739

東予地域における歯科衛生士不足を解消するため、歯科衛生士養成所を新設する。

施設名	所在地	整備概要	負担区分
河原医療大学校新 居浜校(仮称)	新居浜市	改修(臨床実習室、基礎実習室、材料保管室等) 設備整備(機械器具、標本及び模型等) 2年11月～3年1月	県1/2 (事業者1/2)

(地域医療介護総合確保基金を充当)

看護師等養成所施設整備事業費 64, 249

地域医療体制の充実に必要な看護職員を確保するため、看護師養成所の整備を行う。

施設名	所在地	整備概要	負担区分
今治看護専門学校	今治市	改修(教室、情報処理室、実習室等) 2年4月～8月	県1/2 (事業者1/2)

(地域医療介護総合確保基金を充当)

◎ **視聴覚福祉センター等設備整備事業費** 10, 000

視覚障がい者の自立と社会参加を一層促進するため、点字製版機械等の整備を行う。

施設名	所在地	整備概要
県視聴覚福祉 センター	松山市	全自動点字製版機械
県立松山盲学校	松山市	点字プリンタプロッタ、プレクストークリンクポケット

(旧県盲人福祉センター卒業生からの寄附金10,000千円を活用)

子ども療育センター設備整備事業費 1, 925

重症心身障がい児等に対して適切な医療・福祉サービスを提供するため、必要な設備の整備を行う。

- 1 整備内容 自動血球洗浄遠心機の導入
手術に伴う輸血前に、使用する血液製剤の適合性を検査するための機器の購入
- 2 負担区分 国10/10

○ **衛生環境研究所整備事業費** 825, 730

[債務負担行為限度額 1, 400, 624]

老朽化が進んでいる県衛生環境研究所の移転建替整備を行う。

- 1 建設場所 東温市見奈良
 - 2 構造・規模 鉄筋コンクリート(RC)造3階建 3,848.0㎡
 - 3 施設概要 公衆衛生及び環境保全に関する調査研究、試験検査、研修指導等を実施
 - 4 整備期間 30年4月～4年3月
 - 5 開設予定 4年4月
- (県有施設更新整備基金を充当)

◎ **動物運搬車整備事業費** 5, 913

動物の移動譲渡会やふれあい教室等の開催のため、動物運搬車両の更新を行う。

- 1 整備場所 県動物愛護センター
- 2 整備内容 動物運搬用特殊車両 1台
- 3 負担区分 国10/10

地域ヘリポート整備支援事業費 32, 500

ドクターヘリの安全かつ効果的な運航体制や災害時も活用できる体制を構築するため、市町等が行うランデブーポイントの拡充を支援する。

- 1 実施主体 市町(一部事務組合を含む)
- 2 整備箇所 13か所
- 3 対象経費 ヘリポートの整備に要する経費(アスファルト舗装や芝生化、散水設備など)
- 4 補助率 県1/2(上限250万円)

私立幼稚園耐震化促進事業費 5, 857

私立幼稚園に通う園児の安全・安心を確保するため、私立幼稚園が行う園舎、屋内運動場等の耐震対策を支援する。

- 1 対象 県内に所在する私立幼稚園
 - 2 耐震補強
 - (1)対象施設 文部科学省の補助採択を受けた非木造園舎・屋内運動場等
 - (2)実施箇所 1園1棟
 - (3)補助率 国補助額の1/2(上限10,000千円/棟)
- (災害に強い愛媛づくり基金を充当)

○ **児童福祉施設災害復旧費** 329, 582

西日本豪雨により被災した児童福祉施設の通常運営再開に向けた移転改築を支援する。

- 1 実施主体 西予市
- 2 対象施設 野村保育所
- 3 補助対象 応急仮設施設のリース及び移転改築に要する経費
- 4 負担区分 国1/2、県1/4(市1/4)

愛媛県社会福祉大会補助金 500

- 1 時 期 2年10月
- 2 場 所 県民文化会館
- 3 参 加 2,500人

肢体不自由児愛護大会補助金 200

- 1 時 期 2年11月
- 2 場 所 県生涯学習センター
- 3 参 加 150人

◎ **全国手をつなぐ育成会連合会全国大会補助金** 500

- 1 時 期 2年10月
- 2 場 所 県民文化会館
- 3 参 加 2,000人

愛媛県老人クラブ大会補助金 200

- 1 時 期 2年9月
- 2 場 所 県民文化会館
- 3 参 加 1,000人

遺族大会補助金 200

- 1 時 期 3年3月
- 2 場 所 県民文化会館
- 3 参 加 1,700人

VYS大会補助金 200

- 1 時 期 3年2月
- 2 場 所 えひめこどもの城
- 3 参 加 500人

愛媛県母子寡婦福祉大会補助金

200

- 1 時期 2年9月
- 2 場所 県民文化会館
- 3 参加 1,000人

社会福祉施設整備基金積立金

1,080

社会福祉施設の改築等のため設置した基金に運用利息を積み立てる。

- 1 基金の名称 社会福祉施設整備基金
- 2 基金事業の内容 社会福祉施設の改築、修繕等

介護保険財政安定化基金積立金

3,286

市町の介護保険財政において財源不足の発生が見込まれる場合に、貸付・交付により補填を行うために設置した基金に、運用利息を積み立てる。

- 1 基金の名称 介護保険財政安定化基金
- 2 基金事業の内容
 - ・貸付 給付費の増大等で介護保険財政に不足が見込まれる市町に無利子で資金を貸与する。
 - ・交付 保険料収納額の不足が見込まれる市町に対し、不足額の1/2を基準として交付金を交付する。

後期高齢者医療財政安定化基金積立金

3,983

後期高齢者医療広域連合の保険料未納等に起因する財政不足に対して資金の貸付・交付を行うために設置した基金に、運用利息を積み立てる。

- 1 基金の名称 後期高齢者医療財政安定化基金
- 2 基金事業の内容
 - ・貸付 給付費の増大等による広域連合の保険財政不足額を無利子で貸与する。
 - ・交付 保険料収納率の悪化による広域連合の保険財政不足に対し、未納額の1/2を基準として交付する。また、保険料上昇を抑制するために必要な額を交付する。

国民健康保険事業特別会計繰出金

8,301,208

国民健康保険事業の実施に必要な経費のうち、県が負担すべき経費を特別会計に繰出する。

- 1 県繰出金(財政調整)
市町の保険給付費等の一定割合(9%)を負担する。
- 2 特定健診等負担金(県1/3(国1/3、市町1/3))
市町が実施する特定健診等の実施に要する費用を負担する。
- 3 高額医療費負担金(県1/4(国1/4))
80万円を超える高額医療費の一定割合を負担する。
- 4 保険者事務費

子ども子育て応援基金積立金

20,133

次世代を担う子どもや子育て世帯をオール愛媛でサポートするために設置した基金に、民間企業等からの寄附金及びそれと同額の県出捐金を原資として積み増しを行うとともに、運用利息を積み立てる。

- 1 基金の名称 子ども子育て応援基金
- 2 基金事業の内容 えひめオリジナルの子育て支援事業、民間団体等への活動支援等

安心こども基金積立金

118

子どもを安心して育てることができる体制整備を推進するために設置した基金に運用利息を積み立てる。

- 1 基金の名称 安心こども基金
- 2 基金事業の内容 保育サービス等の充実(保育所等整備事業、保育士人材確保等事業、認定こども園施設等整備事業)
- 3 設置期間 20～2年度

地域医療介護総合確保基金積立金

3,224,974

消費税率の引上げ分を財源とする医療介護提供体制改革推進交付金等を原資として、基金の積み増しを行うとともに運用利息を積み立てる。

- 1 基金の名称 地域医療介護総合確保基金
- 2 基金事業の内容 病床の機能分化・連携、居宅等における医療の提供、医療従事者の確保、介護施設の整備、介護従事者の確保

地域医療医師確保奨学金貸付金

204, 956

〔債務負担行為限度額 162, 864〕

国の大学医学部定員の増員方針のもと、愛媛大学の定員増と連動した奨学金制度の実施により、県内の医療機関等における確実かつ効果的な医師の確保を図る。

- 1 対象者 新規〔愛媛大学地域特別枠入学生〕20人、継続101人
- 2 貸与期間 大学1年から6年までの6年間
- 3 貸与金額 入学金 282,000円
授業料(年) 535,800円(愛媛大学は6年次免除)
生活費(月) 100,000円
- 4 返還免除 知事指定医療機関(県内)で、9年間診療に従事すること

◎ 産科医師確保特別奨学金積立金

100, 000

県内で特に不足している産科医師を確保するため、新たな奨学金の創設に必要な資金を医師確保奨学金基金に積み立てる。

- 1 対象者 医学生(大学3年次～6年次在籍者)、初期臨床研修医及び後期臨床研修医(県内)
- 2 貸与期間 連続する2年以上4年以下
- 3 貸与金額 生活費(月) 200,000円
- 4 返還免除 知事指定医療機関(県内)で、貸与期間と同期間診療に従事すること
- 5 その他 奨学金貸与医師が配置された市町は、当該医師に係る貸与額相当額を基金に戻入

民生児童委員・主任児童委員費

163, 271

民生児童委員、主任児童委員の研修、実費弁償等に要する経費(中核市除く)

- 1 顕彰費 3 地区民生委員協議会活動費補助金
 - 2 民生児童委員実費弁償費補助金 146地区民協
 - 4 地区民協等会長研修事業費(国1/2、県1/2)
- 民生児童委員 2,647人

地域生活定着促進事業費

21, 000

福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者について、退所後直ちに福祉サービス等につなげるための準備を進める地域生活定着支援センターの運営に要する経費

- 1 実施主体 県(県社会福祉協議会へ委託)
- 2 事業内容 地域生活定着支援センター(県総合社会福祉会館内)の運営
 - (1)実施体制 職員数:5人
 - (2)対象者 高齢又は障がい有するため、福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者等
 - (3)主な業務 社会福祉施設等への受入調整、施設等に対する助言、退所者に対する相談支援等

「三浦保」愛基金社会福祉分野公募事業費

11, 500

地域の実情に応じ創意工夫を凝らした福祉活動を行う社会福祉団体等を公募のうえ、その活動に対し「三浦保」愛基金の運用益をもって助成する。

補助区分	特別枠	一般枠
対象団体	広域での事業展開を行う団体	小規模団体
補助団体数	概ね3団体	概ね25団体
補助額	1,200千円以内	300千円以内
補助率	3/4以内	定額

福祉・介護人材確保対策事業費

32, 867

離職率の高い福祉・介護従事者について、総合的な人材確保事業を実施する。

- 1 実施主体 県(県社会福祉協議会へ委託)
- 2 主な事業内容
 - (1)福祉・介護の仕事魅力発信・発見事業
マスメディアを活用した広報、福祉・介護の職場体験事業等
 - (2)介護等人材マッチング・定着支援事業
キャリア支援専門員の設置(ハローワークにおける出張相談等)、県外人材の確保促進等
 - (3)介護等人材確保連携強化事業
福祉人材センター内へのコーディネーター配置、介護人材確保に関する連携会議開催等
 - (4)介護福祉士等応援コミュニティ設置事業
離職した介護職員の復職支援に関する情報交換の場の提供等
 - (5)福祉・介護関係事業所合同入職式事業
新任の福祉・介護職員が参加する合同入職式の開催
(地域医療介護総合確保基金を充当)

外国人介護人材受入支援事業費

48, 416

外国人介護人材の受入体制を支援するため、総合支援窓口を設置するとともに、受入施設における外国人介護福祉士候補者の日本語学習や技能実習生等の介護技能向上のための集合研修等を支援する。

- 1 外国人介護人材支援センターの設置
 - (1)事業内容 関係者による連絡会議の開催、相談員の配置、巡回相談の実施 など
 - (2)委託先 県社会福祉協議会
- 2 外国人介護福祉士候補者学習支援事業
 - (1)対象 経済連携協定(EPA)に基づく受入施設を運営する法人
 - (2)補助対象 候補者の日本語や介護分野の専門学習支援等に要する経費
 - (3)負担区分 国10/10
- 3 外国人留学生介護福祉士候補者学習支援事業
 - (1)対象 介護福祉士養成施設を運営する法人
 - (2)補助対象 候補者の日本語や介護分野の専門学習支援等に要する経費
- 4 外国人介護人材マッチング支援モデル事業
事業内容 マッチングコーディネータの配置、中国での合同説明会の開催 など
- 5 外国人介護人材集合研修支援事業
 - (1)対象 監理団体等
 - (2)補助対象 技能実習生等の介護技能向上のための集合研修に要する経費
 - (3)負担区分 国10/10(地域医療介護総合確保基金を充当)

包括的地域福祉推進体制構築事業費

2, 857

地域共生社会の実現に向けて、福祉を支える関係機関・人材をつなぐネットワークづくりや県民の福祉に対する自発的参画意識の醸成に取り組み、包括的な地域福祉の推進体制の構築を図る。

- 1 実施主体 県(県社会福祉協議会へ委託)
- 2 事業内容 (1)地域福祉課題を包括的に解決するネットワークの構築に向けた検討会の開催
(2)地域福祉ネットワークの構築に向けた活動への支援
(3)検討会や活動支援の成果を広く県民へ発信するセミナーの開催
- 3 負担区分 国3/4、県1/4

被災者見守り・相談支援事業費

113, 588

被災者の安定的な日常生活の確保を図るため、仮設住宅等への巡回訪問等を通じた見守りや相談支援、住民同士の交流促進など、総合的な支援を実施する。

- 1 事業内容
 - (1)県地域支え合いセンターの運営
 - ・事業内容 市センターへの助言、研修会等の実施、アドバイザーの派遣 など
 - ・委託先 県社会福祉協議会
 - (2)市地域支え合いセンターの運営に対する補助
 - ・実施主体 宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市
 - ・補助対象 被災者の見守りや相談支援、支援従事者研修会等を実施する経費
- 2 負担区分 国10/10

○ 南予交流食堂支援事業費(南予)

1, 548

地域の絆を深め、住民自らが地域福祉の担い手となり福祉課題解決の一助となることを目的として、少子高齢化の進展する南予地域において、地域住民が「食」を通して交流する拠点となる食堂の普及を図る。

- 1 ネットワーク構築・情報交換のための関係者会議の開催(年1回)
事業内容 模擬交流食堂開設団体による事業報告や意見交換等
- 2 模擬交流食堂の開設(一般枠3団体、被災者支援枠3団体に委託)
事業内容 モデル事業として模擬交流食堂を開設し、運営ノウハウ・課題の整理及び近隣住民等とのイメージ共有のほか、新たに被災者と地域住民の交流を促進する。
- 3 県内先進団体等からのアドバイザー派遣(年18回)
事業内容 交流食堂開設希望団体等のニーズに応じたアドバイザーの派遣
- 4 成果報告会の開催

- ◎ **災害時NPO・ボランティア等連携協働体制強化事業費** 2, 209
 災害時に被災者に対してきめ細かな支援活動を展開するため、平時から行政、社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体等の三者による情報共有や活動調整等を行う体制を構築する。
- 1 愛媛災害・支援情報・共有会議の開催(月1回)
 - 2 ワーキンググループの設置・運営(年3回)
 - (1)構成 県、有識者、社会福祉協議会、ボランティア、NPOなど
 - (2)内容 連携体制の構築、強化に向けたマニュアル作成等
 - 3 三者連携の体制づくりのための研修会の開催
 - (1)参加者 県、市町、社会福祉協議会、ボランティア、NPOなど
 - (2)内容 パネルディスカッション、ワークショップ
 - 4 負担区分 国1/2、県1/2

身体障がい者生活支援事業費 13, 782
 身体障がい者のコミュニケーション手段の確保、情報バリアフリーの促進及び生活訓練等に関する事業を実施する。

- 1 身体障がい者コミュニケーション確保対策事業
 - (1)意思疎通支援者養成研修事業 (国1/2、県1/2)
 - (2)中予管内手話通訳者・要約筆記者養成研修事業費負担金 (国1/2、県1/2)
 - (3)手話通訳者指導者養成研修事業 (国1/2、県1/2)
 - (4)意思疎通支援者派遣事業 (国1/2、県1/2)
 - (5)字幕入り映像制作事業 (国1/2、県1/2)
 - (6)要約筆記者派遣事業従事者資質向上特別支援事業 (国1/2、県1/2)
 - (7)視覚障害者移動支援事業従事者資質向上特別支援事業 (国1/2、県1/2)
 - (8)軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業
 ・実施主体 市町 ・負担区分 県1/3(市町1/3、自己1/3)
 - (9)失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業(国1/2、県1/2)
 - (10)失語症者向け意思疎通支援者指導者養成事業(国1/2、県1/2)
- 2 障がい者パソコンボランティア派遣・養成事業 (国1/2、県1/2)
- 3 身体障がい者生活訓練等事業 (国1/2、県1/2)

障がい者権利擁護対策支援事業費 5, 320
 障がい者差別の解決を図る委員会を設置するとともに、専門相談や通報対応等を行う障がい者権利擁護センターを運営するなど、障がい者差別の解消と虐待防止対策を推進する。

- 1 障がい者差別解消対策事業
 - (1)職員研修
 - (2)障がい者差別解消調整委員会
 - (3)専門アドバイザー設置
- 2 障がい者虐待防止対策事業
 - (1)地域ネットワーク会議 (国1/2、県1/2)
 - (2)障がい者虐待防止・権利擁護研修 (国1/2、県1/2)
 - (3)障がい者虐待事案対応
- 3 障がい者差別解消・虐待防止体制整備事業
 - (1)障がい者権利擁護センター運営
 - (2)障がい者権利擁護関係機関連携会議

医療的ケア児等支援体制構築事業費 1, 330
 人工呼吸器を装着するなど日常生活を営む上で医療を要する状態にある障がい児や重症心身障がい児等が地域で安心して暮らせる体制の構築を支援する。

- 1 医療的ケア児等支援体制構築事業
 - (1)医療的ケア児等支援協議会(年2回)(国1/2、県1/2)
 - (2)医療的ケア児等支援担当者合同会議派遣
- 2 医療的ケア児等支援者養成事業 (国1/2、県1/2)
 - (1)事業内容 医療的ケア児等支援者・コーディネーター養成研修会の開催
 - (2)委託先 (公財)日本訪問看護財団

障がい者芸術文化活動推進事業費

10, 699

障がい者の芸術文化活動を総合的に支援する拠点を設置し、相談支援や人材育成等を行うとともに、活動発表の場として「障がい者芸術文化祭」を開催する。

- 1 障がい者アートサポートセンターの設置
 - (1)障害福祉サービス事業所等に対する支援方法等の相談支援(相談員配置)
 - (2)芸術文化活動の支援方法等に関する研修会(年4回)及び個別訪問指導の実施
 - (3)芸術文化活動の情報収集・発信 等
- 2 障がい者芸術文化祭の開催
 - (1)こころ集まれ2020の開催
 - ・時 期 2年10月(2日間)
 - ・場 所 松山大街道商店街
 - ・内 容 歌唱、ダンス等のステージ発表・アート作品の展示・販売、フォトスポットの制作等
 - (2)愛顔ひろがる障がい者アート展の開催
 - ・時 期 2年12月
 - ・場 所 県美術館
 - ・内 容 4部門(絵画・デザイン、書道、陶芸、その他立体作品)の作品展示
- 3 委託先 (福)県社会福祉事業団
- 4 負担区分 国1/2、県1/2

障害者就労施設等営業強化事業費

4, 826

施設外就労(作業の請負)を新たな成長分野と捉えて企業等への営業活動の強化により、各事業所の収入増と工賃向上を図る。

- 1 事業内容
 - (1)関係者による協議会の開催(年5回程度)
 - (2)企業等への営業活動の強化(障がい者共同受注窓口への営業職員の配置)
- 2 負担区分 国10/10

農福連携商品化支援事業費

5, 420

障害者就労施設等に専門家を派遣し農作物の加工及び商品化を支援するとともに、農産物等を販売する農福連携マルシェを開催する。

- 1 魅力ある商品づくりの支援
 - 商品開発等の専門家の派遣(7事業所各10回)
- 2 農福連携マルシェの開催
 - (1)東・中・南予の大型商業施設等で開催(各2回)
 - (2)パネル展示等による障害者就労施設等における農福連携の取組みのPR
- 3 負担区分 国10/10

水福連携マッチング事業費(南予)

567

水産(加工)業が盛んな南予地域で障がい者の就労を促進するため、福祉側、水産業側双方の理解促進を図る検討会を開催するとともに、業務見学会・体験会を行い障がい者の就労可能性を調査する。

- 1 検討会の開催
 - (1)実施回数・場所 年2回(宇和島市、八幡浜市で各1回)
 - (2)参加者 各回40人程度
- 2 業務見学会・体験会の実施
 - (1)内 容 水産品の加工・販売、漁具の掃除 等
 - (2)参加者 障害者就労施設の利用者、施設スタッフ
- 3 成果報告会の開催

障がい福祉職員処遇改善支援事業費

3, 626

障害福祉サービス事業所に対し、福祉・介護職員処遇改善加算の取得に関する助言等を行うことにより、障がい福祉職員の処遇改善を促進する。

- 1 事業内容 事業所への制度周知、助言・指導(セミナーの開催、社会保険労務士による相談支援)
- 2 負担区分 国10/10

- ◎ **心のバリアフリー推進事業費** 2, 672
 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、障がい者への合理的配慮や接遇の方法を分かりやすく説明した接遇マニュアルを作成するとともに、当該マニュアルを活用した研修を実施する。
- 1 接遇マニュアルの作成
障がい者に対する合理的配慮の事例や接遇の際の注意点をイラストや写真等で説明
 - 2 研修事業
 - (1)対象者 県内商店、飲食店、ホテル、観光施設等の接客担当者
 - (2)内容 当事者による障害者差別解消法の説明、障がい者に対する合理的配慮の事例等
(「三浦保」愛基金を充当)
- 障がい福祉業務支援機器導入促進事業** 3, 000
 障がい福祉の現場において、従事者の身体的精神的負担の軽減や業務の効率化など環境整備を図るため、ロボット技術を活用した介護支援機器の導入を支援する。
- 1 対象 障害者支援施設等 10事業所
 - 2 内容 見守りロボット等導入経費
 - 3 補助率 国10/10
- 心身障がい者(児)歯科巡回診療事業費** 9, 282
 歯科巡回診療車「こまどり号」を心身障がい者(児)施設等へ派遣して歯科検診を実施する。
- 1 委託先 (一社)県歯科医師会
 - 2 巡回先施設 児童福祉施設(障がい児関係)、障害者支援施設 等
- 老人クラブ育成指導費** 24, 332
 老人クラブの適正な運営と活動の充実強化を行い、高齢者の社会参加を促進する。
- 1 老人クラブ育成等事業(国1/3、県1/3(市町1/3)ほか)
交付先 市町(中核市除く 対象 1,155クラブ)等
 - 2 老人クラブ等活動推進員設置事業(国1/2、県1/2)
設置場所 (公財)県老人クラブ連合会
設置人員 2人
 - 3 高齢者相互支援推進事業(国1/2、県1/2)
交付先 (公財)県老人クラブ連合会
事業内容 シルバーリーダーの選任(東・中・南予各1老連)、高齢者相互支援活動研修会の開催等
 - 4 老人クラブ指導者研修等
- 明るい長寿社会づくり推進事業費** 25, 442
 高齢者の社会活動の振興及び高齢者が安心して暮らすことができる体制整備を図る。
- 1 実施主体 県社会福祉協議会
 - 2 事業内容

(1)全国健康福祉祭(ねんりんピック岐阜)派遣事業	(4)現任介護相談員研修事業
(2)高齢者大学校開設事業	(5)高齢者虐待対応職員養成講座事業(国1/2、県1/2)
(3)高齢者相談事業	(6)明るい長寿社会づくり推進機構の運営
- 介護施設開設準備経費助成事業費** 328, 298
 特別養護老人ホーム等の開設準備経費を助成することにより、介護保険制度の安定的運用を図る。
- 1 実施主体 市町
 - 2 事業内容 介護施設開設準備経費の助成
(地域医療介護総合確保基金を充当)
- 介護雇用プログラム推進事業費** 78, 050
 介護職員を安定的に確保するため、働きながら介護分野の資格を取得できる「介護雇用プログラム」を実施する。
- 1 委託先 人材派遣会社
 - 2 事業内容 求職者の登録、介護事業所等への人材派遣、初任者研修の実施 等
(地域医療介護総合確保基金を充当)

介護人材研修等支援事業費

19,789

介護職員の育成や確保等を図るため、介護関係団体等が行う人材養成等事業に要する経費を補助する。

- 1 介護の仕事魅力発信事業(県老人福祉施設協議会)
- 2 口腔ケアに係る介護人材資質向上支援事業(県歯科医師会)
- 3 介護人材キャリアアップ支援事業(県老人保健施設協議会)
- 4 地域密着型サービス職員の資質向上事業(県地域密着型サービス協会)
- 5 権利擁護人材育成事業
・市民後見推進事業(松山市)
・法人後見推進事業(県社会福祉協議会)
- 6 介護施設等で働く看護職員の研修支援事業(県看護協会)
- 7 リハビリテーション専門職のための地域包括ケア推進人材育成事業(県リハビリテーション専門職協会)
(地域医療介護総合確保基金を充当)

認知症施策推進事業費

7,942

認知症地域支援体制の構築を図るほか、認知症の人や家族が気軽に相談できる体制整備を図る。

- 1 事業内容
 - (1)認知症施策推進会議の開催 年3回
 - (2)若年性認知症自立支援ネットワーク構築事業 コーディネーターの設置運営
 - (3)認知症電話相談事業 専門家等が対応するコールセンターの設置
 - (4)認知症理解促進事業 フォーラム、街頭活動、県庁でのパネル展示の実施
 - (5)若年性認知症交流会の開催 月2回
- 2 負担区分 国1/2、県1/2

地域の介護人材参入・定着促進事業費

17,191

多様な人材を補助的な介護業務の担い手として新たに育成し、また、補助的業務従事者に介護員養成研修を受講させることにより、労働環境の改善、離職防止等を図る。

- 1 介護人材参入・就労支援事業
- 2 介護員養成研修受講促進事業
(地域医療介護総合確保基金を充当)

介護情報提供体制構築事業費

3,293

ICTを活用して有用な情報を提供するほか、介護事業者の認証評価や表彰制度を検討し、介護離職ゼロを目指すとともに、地域包括ケアの推進を図る。

- 1 介護情報スマホアプリ・PCサイト版の運営
- 2 介護人材育成事業所認証評価制度案の策定
(地域医療介護総合確保基金を充当)

働く家族の介護力強化事業費

15,789

働く家族に対する介護力強化セミナー等を開催し、介護や生活支援の担い手を養成するとともに、企業間のネットワークを構築し、相談・支援体制の充実を図る。

- 1 働く家族の介護力強化セミナー等の開催
- 2 働く家族・経営者・専門家等によるネットワークの構築
(地域医療介護総合確保基金を充当)

介護業務支援機器導入促進事業費

18,506

介護従事者の労働環境整備や離職防止、ケアの質向上を図るため、介護事業所への介護ロボットの導入を支援するとともに、福祉用具等を活用した抱え上げない介護を推進する。

- 1 介護ロボット導入支援事業
- 2 ノーリフティングケア普及啓発モデル事業
(地域医療介護総合確保基金を充当)

社会福祉施設防災力強化事業費

3,332

関係団体等と防災対策のあり方を検討するとともに、社会福祉施設が防災関係機関の現地指導を受け、より実効性の高い防災計画とすることを支援することにより、防災力強化を図る。

- 1 県社会福祉施設防災対策協議会の開催
- 2 社会福祉施設防災力強化支援事業
- 3 施設管理者向け研修会の開催
- 4 居宅サービス事業者向け研修会の開催

介護職員処遇改善特別支援事業費

6,531

介護サービス事業所に対し、介護報酬の介護職員処遇改善加算の取得に関する助言等を行うことにより、介護職員の処遇改善を促進する。

- 1 事業所への制度周知、助言・指導(セミナーの開催、社会保険労務士による相談支援)
- 2 負担区分 国10/10

介護保険保険者機能強化支援事業費

3,029

高齢者の自立支援・重度化防止及び介護給付の適正化の取組みを支援するため、市町職員研修会等を実施する。

- 1 地域課題分析力強化研修会の開催(年3回)
- 2 ケアプラン点検適正化研修会の開催(年2回)
- 3 ケアプラン点検体制強化等に係るアドバイザー派遣
- 4 自立支援・重度化防止等に向けた保険者支援に係る職員研修会の開催
- 5 負担区分 国10/10

○ ねんりんピック開催準備事業費

18,091

4年に本県で初開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック)の成功に向け、計画的に準備を進める。

- 1 実行委員会運営事業
 - (1)県大会実行委員会の設立・開催(年1回)
 - (2)常任委員会の設置・開催(年2回)
 - (3)専門委員会の設置・開催(各年2回(総務企画、式典事業、宿泊輸送))
- 2 広報・宣伝事業
 - (1)大会公式ホームページの制作
 - (2)県内イベント等でのPR活動
 - 大会機運醸成のための講演会の開催(年1回)
 - 市町・関係競技主管団体の関連イベントや岐阜大会等でのPR活動
 - PRグッズ等の作成
- 3 大会実施事業
 - (1)大会総合開会式・閉会式等の企画
 - (2)地域文化伝承館開催準備
- 4 交流大会開催支援事業
 - (1)市町・関係競技主管団体合同説明会等の開催
 - (2)交流大会開催準備支援
- 5 全国健康福祉祭開催準備事業
 - (1)先催県調査・情報収集
 - (2)大会実施要綱の作成

介護職員等資質向上支援事業費

22,759

介護職員等の資質向上を図るため、県内の介護サービス事業所等が現任介護職員等に研修を受講させる際に、その代替職員を派遣する。

- 1 対象事業所等 介護保険施設、居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所
- 2 派遣人数 40人
- 3 派遣日数 最大60日
(地域医療介護総合確保基金を充当)

○ 介護分野AI・ICT導入促進事業費

33, 115

介護分野にAI・ICTの技術を導入することで、業務の効率化等のほか、イメージアップを図り、労働環境の改善等による介護人材の確保を図る。

1 自立支援のためのAIケアプラン導入支援事業

(1)AIを活用した自立支援型ケアプラン導入モデル事業

- ・対象 西条市
- ・内容 AIを活用した自立支援型ケアマネジメントの実証
- ・補助率 国10/10

(2)AIケアプラン導入検討会の開催(年3回)

- ・参加者 県、市町、県介護支援専門員協会、事業者

(3)モデル市町におけるセミナー等の開催

- ・内容 自立支援啓発セミナーの開催(住民・専門職 各1回)
操作体験会の開催(専門職 2回)

2 ICT機器活用による介護職場環境改善支援事業

(1)ICT普及促進セミナーの開催(東・中・南予 各1回)

- ・対象 介護保険施設等 各100人

(2)ICTを活用した職場環境改善支援事業

- ・対象 介護保険施設等 50事業所
- ・内容 ITコーディネーターを派遣し、機器導入に向けた相談支援を実施

(3)ICT機器導入促進事業

- ・対象 15事業所
- ・内容 ICT機器購入経費、リース料
- ・補助率 1/2(上限50万円～130万円)

(地域医療介護総合確保基金を充当)

◎ 認知症地域支援推進強化事業費

1, 096

県内における支援体制の構築を図るため、認知症地域支援推進員など認知症の人やその家族の支援に携わる関係者の資質向上及び認知症カフェの開設を促進する。

1 認知症地域支援推進員研修会の開催(年1回)

- (1)対象 認知症地域支援推進員 100人
- (2)内容 講演、先駆的な自治体等からの報告及び意見交換

2 認知症カフェ設置・運営に係る交流研修会の開催(年2回)

- (1)対象 市町、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、認知症カフェ等 150人
- (2)内容 講演、先駆的な自治体等からの報告、意見交換及び認知症カフェ体験

3 負担区分 国10/10

えひめ結婚支援センター運営事業費

25, 589

少子化の主たる要因である未婚化・晩婚化に対応するため、えひめ結婚支援センターにおいて、未婚男女を対象とする結婚支援イベント等を実施する。

1 内容 えひめ結婚支援センターの運営

(1)愛結びの推進

- ・内容 市町と連携した身近な利用窓口設置、マッチングシステムの運用 等

(2)若手社会人向けサテライト会場の運営

- ・内容 交流イベントの企画、ボランティア推進員の資質向上、近隣店舗と連携したお見合い若者の親を対象としたライフプランセミナー・個別相談会の開催 等
- ・場所 松山市駅前地下街「ひめring」

(3)出会いイベントの開催

- ・内容 応援企業が行うパーティ形式のイベントの開催支援 等

(4)異業種交流の支援

- ・内容 異業種交流ネットワークの拡大、異業種交流会の開催支援 等

2 委託先 (一社)県法人会連合会

3 負担区分 国1/2、県1/2

地域少子化対策強化事業費

20, 661

喫緊の課題である少子化問題に対応するため、結婚、妊娠・出産、子育ての一貫した「切れ目のない支援」を実施する。

1 地域少子化対策重点推進事業

(1) 県実施事業(国1/2、県1/2)

- ①「えひめのびのび子育て応援隊」利用促進・向上事業
- ②男性の家事・育児参画促進事業

(2) 市町実施事業 国10/10

2 結婚新生活支援事業

- (1)事業内容 経済的理由で結婚に踏み出せない低所得者を対象に、転居等に係る経費を助成する。
- (2)負担区分 国1/2(市町1/2)

子育てワンストップサポート推進事業費

2, 364

子育て世帯の不安感等を解消し、総合的な子育て支援・少子化対策を推進するため、子育て支援スマホアプリ「きらきらナビ」を運営する。

- 1 利用者のライフステージに応じた情報の作成・配信
- 2 子育て世帯等のニーズの把握

愛顔の子育て応援事業費

145, 513

県、市町及び県内紙おむつ生産企業が連携して、子育て世帯への経済的支援を行い、子育てを応援し、本県の出生率の向上を図る。

1 愛顔っ子応援券の交付

(1) 実施主体 市町(四国中央市は市単独事業にて実施)

(2) 事業内容 30年4月1日以降に生まれた第2子以降の出生世帯に、県内企業3社の紙おむつ製品購入券(50,000円分)を交付

2 負担区分 県1/2(市町1/2)

地域子育て支援グループ育成支援事業費(中予)

777

管内の地域子育て支援グループのネットワーク化を図るため、人材の育成や情報発信による認知度向上を支援するほか、市町単位のモデル事業の実施により子育て力の向上を図る。

- 1 中予地区地域子育て支援連携推進協議会の開催(年2回)
- 2 地域子育てサークル等立ち上げ支援
- 3 市町地域子育て支援ネットワーク構築支援モデル事業
 - ・市町子育てグループ支援ネットワーク会議(4回開催)の開催支援
 - ・市町子育てサークル交流イベントの開催
- 4 地域子育て支援グループ交流会の開催(1回)
- 5 活動情報発信の応援
 - ・愛媛の子育て応援アプリ「きらきらナビ」を活用し、参加グループ及び活動内容の紹介

◎ 子どもの愛顔応援ファンド推進事業費

9, 282

子どもの愛顔応援ファンドを推進するため、県及び市町からの負担金を活用し、継続的な寄附募集やファンドを活用した事業のPRを行う。

1 子どもの愛顔応援県民会議の開催(年3回)

- (1)構成 県、市町、商工団体、金融機関、社会福祉団体等
- (2)内容 寄附の募集方針、ファンドを活用した事業等の協議
- (3)負担区分 県1/2(市町1/2)

2 えひめ子どもネットワーク形成事業

- (1)構成 学識経験者、福祉関係者、保護者、県(6名)
- (2)内容 えひめ子ども支援ネットワーク会議の設置・運営、研修会の開催(年1回)
- (3)委託先 県社会福祉協議会
- (4)負担区分 国1/2、県1/2

3 子どもサポートコーディネーター事業

- (1)内容 子育てサポーターの総括、サポーターによる地域における支援の資源調査 等
- (2)委託先 関係団体(2者)
- (3)負担区分 国1/2、県1/2

◎ 子どもの愛顔応援ファンド活用事業費

15,914

子どもの愛顔応援ファンドを活用して、市町や企業等と連携した子育て支援事業を実施し、社会全体で子育てを支援する機運の醸成を図る。

1 市町連携事業

(1) 休日子どもサポート事業

① 休日子どもクラブ推進事業

- ・実施主体 八幡浜市、西予市
- ・内容 長期休暇中や農繁期に特化した子どもの居場所づくり

② 休日子どもカレッジ推進事業

- ・実施主体 松山市
- ・内容 大学等の空きスペースを活用した長期休暇中の子どもの体験・交流活動の実施

(2) 子育て世帯支援事業

- ・実施主体 新居浜市
- ・対象 子育て世帯
- ・内容 保護者が地域の子育て支援拠点と交流できるイベントの開催

2 県事業

(1) 自転車リレー事業

- ・内容 使わなくなった自転車の提供を受け、整備後、高校生等に譲渡する。(整備台数50台)

(2) 被災地子どもの夢実現事業

- ・内容 被災地での子ども向け映画祭の実施

3 民間団体等支援事業

(1) えひめ子どもサポート事業

- ・対象 子育て支援団体等
- ・内容 児童の健全育成や子育て支援への助成
- ・補助額 上限20万円

(子ども子育て応援基金を充当)

放課後児童支援員等研修事業費

3,175

市町等が実施する放課後児童健全育成事業に携わる放課後児童支援員等に対し、必要な研修を実施することにより、児童の健全な育成を図る。

1 放課後児童支援員認定資格研修事業

- (1) 対象 保育士、社会福祉士、幼稚園教諭等の資格を持つ放課後児童健全育成事業従事者
- (2) 研修概要 200人/回 (研修科目・時間) 16科目・24時間

2 放課後児童支援員等資質向上研修事業

- (1) 対象 放課後児童支援員及び補助員、児童厚生員等
- (2) 研修概要 全体研修会(中予1回)、地区別研修会(東・中・南予各1回)等

3 委託先 伊予鉄総合企画(株)

4 負担区分 国1/2、県1/2

ひとり親家庭自立支援事業費

25,147

ひとり親家庭の親の職業能力の開発と雇用機会の創出等を図る。

1 対象区域 町

2 事業内容 (1) ひとり親家庭自立支援教育訓練費

- ・対象者 雇用保険制度の指定教育訓練講座等を修了した者
- ・支給額 対象講座の受講料の6割相当額(上限80万円、下限12千円)

(2) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等

- ・対象者 資格取得を目的として、1年以上養成機関で受講する者
- ・支給額 ① 高等職業訓練促進給付金 月額10万円(最終学年の1年間は月額14万円)
② 高等職業訓練修了支援給付金 5万円(1人1回)

(3) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金

- ・対象者 高等学校卒業程度認定試験対策講座を修了した者(ひとり親家庭の児童を含む)
- ・支給額 対象講座の受講料の最大6割相当額(上限15万円)

3 負担区分 国3/4、県1/4

ひとり親家庭学習支援ボランティア派遣事業費

2,988

ひとり親家庭の児童の学習意識と学力の向上を図るため、学習支援ボランティアによる学習支援や進学相談等を行う。

1 実施主体 市町(新居浜市、西条市、伊予市、東温市、鬼北町、愛南町)

2 実施形態 市町に対する補助

保育対策総合支援事業費

52, 888

子育て安心プランによる保育の量の拡大に伴い、保育士資格取得の支援、子育て支援員研修の実施等により、子どもを安心して育てることができる体制を整備する。

- 1 実施主体 県、市町
- 2 事業内容 保育士・保育所支援センター設置運営事業、保育士等資格取得支援事業、子育て支援員研修事業など
- 3 負担区分 県1/8～10/10 (国1/3～3/4、中核市1/2、市町1/8～1/3)

児童相談活動事業費

20, 046

関係機関との連携を強化するなど、虐待対応に向け相談所機能の充実強化を図り、複雑多様化する児童問題に的確に対応する。

- 1 主な事業 (1)児童相談所支援体制強化事業 (5)児童の安全確認のための体制強化事業
(2)児童虐待事例評価検討事業 (6)児童虐待防止のための広報啓発事業
(3)市町との連携強化事業 (7)児童養護施設等の職員人材確保事業
(4)児童虐待死亡事例検証事業
- 2 負担区分 国1/2、県1/2

社会的養護自立支援等事業費

9, 886

法定年齢到達により、里親委託や児童養護施設等の入所措置を解除された者等について、原則22歳の年度末まで必要な支援を継続することにより、社会的自立を促進する。

- 1 主な事業 (1)社会的養護自立支援事業 (3)未成年後見人支援事業
(2)身元保証人確保対策事業
- 2 負担区分 国1/2、県1/2

○ 発達障がい児(者)支援体制整備推進事業費

25, 521

発達障がい児(者)への支援ニーズの高まりを踏まえ、地域における支援体制の充実を図る。

- 1 県発達障がい者支援協議会の開催(年2回)
構成 14人(学識経験者、医療・保健・福祉・労働・教育関係者、当事者団体)
- 2 発達障がい者地域支援マネジャーの設置
設置場所 東・中・南予 各1か所
- 3 発達障がい支援ネットワーク会議の開催(東・中・南予 各3回)
内容 地域課題の共有、情報交換、相談体制の検討 等
- 4 発達障がい者家族の支援
(1)内容 ペアレント・メンター養成講座、ペアレントトレーニングの実施 等
(2)委託先 愛媛大学
- 5 ライフスキルトレーニング指導者養成研修の実施
(1)内容 対人関係等で適切な行動を習得するトレーニングの指導者養成
(2)委託先 愛媛大学
- 6 発達障がい専門医療機関ネットワークの構築
内容 コーディネーターの配置、地域医療機関に対する研修の実施等
- 7 負担区分 国1/2、県1/2

◎ えひめこどもの城魅力向上推進事業費

12, 441

ジップラインの整備を機に、メインターゲットである10～20歳代へ効果的に情報発信するとともに、とべ動物園との連携・周遊促進イベントを開催する。

- 1 ジップラインオープニングイベントの開催
内容 オープニングセレモニー(とべ動物園・砥部町との合同開催)
県内の中・高校生、大学生対象の特別キャンペーン等の実施
- 2 とべ動物園との連携イベントの実施
内容 とべ動物園とタイアップした周遊イベント、SNSキャンペーン等の開催
両施設の共通パンフレット等の作成及び配布
- 3 インターネットを活用した広報・プロモーションの強化
内容 インターネット広告に必要なPR動画の制作
デジタルマーケティングを活用した広告等の配信・検証
- 4 負担区分 国1/2、県1/2

◎ 児童虐待防止医療ネットワーク事業費 4, 818

拠点病院を中心とした児童虐待防止ネットワークを形成し、医療従事者の虐待に関する対応力を高めるとともに、関係機関連携による支援体制を整備する。

- 1 児童虐待専門コーディネーターの配置
 - 配置先 小児患者に対応する拠点病院
 - 内容 院内及び地域の関係者との連絡・調整
- 2 地域医療機関に対する相談支援
- 3 児童虐待対応のための教育研修の実施
 - 対象 地域医療機関の医師等
 - 内容 院内体制の整備方法、症例検討 等
- 4 拠点病院における児童虐待対応体制の整備
 - 内容 院内組織の設置、対応マニュアル作成 等
- 5 実施方法 県医師会・拠点病院へ委託
- 6 負担区分 国1/2、県1/2

生活保護業務費

18, 888

生活保護制度の適正かつ効率的な運営を図るために要する経費

- 1 監査指導費 (国1/2、県1/2・一部国委託) 4 生活保護システム等設置費
- 2 被保護世帯調査費 (一部 国3/4、県1/4) 5 レセプト点検委託費 (国3/4、県1/4)
- 3 嘱託医設置費 (一部 国1/2、県1/2)

○ 災害時保健福祉支援体制強化事業費 18, 801

大規模災害に備え、保健・福祉的支援体制を強化するとともに、福祉避難所の開設に必要な訓練の実施や物資の配備を支援する。

- 1 災害時保健衛生活動強化事業
 - (1)災害対応人材育成研修の開催
 - (2)災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)研修への参加
 - (3)負担区分 国1/2、県1/2
 - 2 災害時福祉支援体制強化事業
 - (1)災害時福祉支援地域連携協議会の開催(年2回)
 - (2)災害時要配慮者支援チーム登録者等研修会の開催
 - (3)連絡会議の開催、市町の防災訓練等への参加
 - (4)負担区分 国10/10
 - 3 福祉避難所機能強化・整備促進事業
 - (1)実施主体 市町
 - (2)補助対象
 - ①福祉避難所開設・運営訓練及びその事前検討
 - ②福祉避難所開設に要する物資の配備(介護トイレ、簡易ベッド、備蓄倉庫など)
 - ③福祉避難体制構築に係るアドバイザーの派遣
 - (3)負担区分 県1/4(国1/2、市町1/4)
- (災害に強い愛媛づくり基金を充当)

先天性代謝異常等対策費

10, 557

新生児の先天性代謝異常等を早期発見し、障がいの発生を予防するため、スクリーニング検査等を行う。

- 1 先天性代謝異常等検査
 - (1)タンデムマス法等によるスクリーニング検査
 - ・対象者 全ての新生児(生後5~7日)・検査機関 タンデムマス法実施可能外部検査機関
 - ・対象疾患 20疾患・精度管理 NPO法人タンデムマス・スクリーニング普及協会
 - (2)スクリーニング検査陽性による確定診断のための精密検査経費助成
 - ・対象者 スクリーニング検査陽性児・検査機関 確定診断実施県内医療機関
- 2 先天異常児発生予防
 - ・遺伝相談の実施(6保健所)

産科医等確保支援分娩手当補助金

22, 050

産科医の処遇を改善しその確保を図るため、分娩手当等を支給する分娩取扱機関に対し補助を行う。

- 1 補助先 市町
 - 2 補助対象経費 産科医等に対する手当(分娩1件につき1万円以内)
 - 3 負担区分 県1/3(市町1/3以内、事業主2/3以内)
- (地域医療介護総合確保基金を充当)

周産期医療対策強化事業費

50, 187

- 1 周産期医療対策事業(国1/3、県2/3)
 - (1)周産期医療協議会の開催
 - (2)周産期医療関係者研修
 - (3)周産期医療調査・研究事業
- 2 周産期母子医療センター運営事業(国10/10)
 - (1)NICU運営経費の一部補助
・補助先 県立中央病院
 - (2)周産期母子医療センター運営の一部補助
・補助先 愛媛大学医学部附属病院
(地域医療介護総合確保基金を充当)
- 3 新生児医療担当医確保支援事業
新生児担当医手当に対する一部補助
・補助先 愛媛大学医学部附属病院
- 4 周産期医療担当医確保支援事業
小児期・周産期カウンセリング手当に対する一部補助
・補助先 愛媛大学医学部附属病院
- 5 新生児聴覚検査体制整備事業(国1/2、県1/2)

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業費

7, 993

小児慢性特定疾病児童の健全育成及び自立促進を図るため、当該児童及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する。

- 1 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業
 - (1)実施主体 県(委託)
 - (2)実施事業 相談支援事業、相互交流支援事業、就職支援事業 等
- 2 慢性疾病児童等地域支援協議会運営事業
 - (1)実施主体 県
 - (2)開催回数 年1回
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

◎ 休日不妊相談窓口設置事業費

1, 547

不妊に悩む方の相談支援体制充実のため、電話相談窓口を新たに土曜日午後(年未年始を除く)に設置する。

- 1 委託先 (一社) 愛媛助産師会
- 2 事業内容 不妊治療および不育症に関する悩み等の相談
- 3 実施方法 電話相談(専用ダイヤル) 毎週土曜日・午後(年未年始を除く)

結核対策事業費

10, 325

- 1 感染症診査協議会結核分科会の開催 委員5人 月2回
- 2 結核予防事業
 - (1)接触者健康診断(国1/2、県1/2) 患者に接触した者等の健康診断
 - (2)精密検査(国1/2、県1/2) 結核登録患者の精密検査
 - (3)結核定期病状調査 対象者 結核登録患者のうち病状把握が困難な者
 - (4)検診機器維持管理 レントゲン機器の維持管理
- 3 特別対策事業(国10/10) 地域DOTS(直接服薬確認)推進事業
- 4 結核菌分子疫学調査事業 県結核予防計画等に基づく病原体サーベイランス体制の整備
- 5 学校結核検診事業 私立学校等が実施する結核健診に対する補助

難病患者支援事業費

9, 208

- 1 難病患者相談支援事業
 - (1)実施方法 愛媛大学医学部附属病院に委託
 - (2)事業内容 難病患者・家族等の医療に関する専門相談窓口の開設
- 2 難病医療等ネットワーク整備事業
 - (1)難病医療連絡協議会の開催 13人(協力病院、医療保健福祉関係、患者団体)、年2回
 - (2)難病医療従事者向けの専門研修 (3)難病医療コーディネーターの配置
- 3 難病患者地域ケア推進事業
 - (1)難病医療相談事業 6保健所
 - (2)難病ケアプラン策定・評価事業 6保健所
 - (3)難病患者訪問相談・指導事業 6保健所
- 4 難病患者一時入院事業
- 5 負担区分 国1/2、県1/2

難病医療事務センター運営費 31, 658

難病医療事務センターを運営するとともに、複雑化する難病医療費助成関係事務の外部委託により業務効率化を図る。

- 1 難病医療事務センター運営事業
- 2 難病医療費助成関係事務委託事業
 - (1)委託先 民間事業者(公募型プロポーザルにより選定)
 - (2)業務内容 ・特定医療費助成に関する申請事務全般
・難病指定医、指定医療機関の更新手続き
・難病申請に関する問い合わせの対応

生活習慣病予防総合支援事業費 58, 801

- 1 健康増進事業費補助金(国1/3、県1/3(市町1/3))
 - (1)健康教育 1,737回 (4)訪問指導 延べ1,005日
 - (2)健康相談 3,011回 (5)総合的な保健推進事業 73,419人
 - (3)健康診査 18,870人
- 2 生活習慣病予防推進指導事業
 - (1)生活習慣病予防協議会の運営 38人、8部会(年1回)
 - (2)肝炎対策協議会の運営(国1/2、県1/2) 5人(年2回)
 - (3)生活習慣病予防対策講習会の開催 6部会で7講習実施

新型インフルエンザ等対策事業費 24, 834

- 1 新型インフルエンザ等対策連絡会議(国1/2、県1/2)
- 2 新型インフルエンザ関係機関従事者訓練・研修事業(国1/2、県1/2)
 - (1)防疫訓練の実施 医療機関等と協力した行動計画を踏まえた訓練
 - (2)対策研修会 松山市内にて開催
- 3 特定接種に係る登録事業(国1/2、県1/2)
- 4 協力医療機関医療資器材整備事業(国1/2、県1/2)
- 5 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄
国の備蓄計画に沿って計画的に目標量を確保

特定感染症検査等事業費 13, 552

性感染症、エイズ及びウイルス性肝炎の予防・まん延防止並びに先天性風しん症候群の予防のための検査・普及啓発を実施する。

- 1 無料匿名検査(国1/2、県1/2)
- 2 出張型肝炎検査等事業(検査委託費:国65%、県35%)
- 3 性感染症予防思想普及事業(国1/2、県1/2)
- 4 検査担当者派遣、検体搬送
- 5 風しん抗体検査助成事業(国1/2、県1/2)

感染症指定医療機関運営費 10, 627

感染症指定医療機関の運営補助や感染症指定医療機関連絡会議の開催、連携訓練及び医療従事者養成事業を実施する。

- 1 第一種感染症指定医療機関運営費(国1/2、県1/2)
 - ・補助対象経費 運営に必要な光熱水費、燃料費及び備品購入費等
- 2 感染症対策連携調整会議
- 3 感染症対策連携訓練事業
- 4 医療従事者養成事業
 - (1)感染症指定医療機関医師派遣事業
 - (2)医療従事者等研修事業(国1/2、県1/2)
 - (3)結核患者早期発見促進事業(国1/2、県1/2)

肝疾患診療地域連携体制強化事業費 8, 306

肝疾患患者、家族の生活の安定を図るため、肝疾患診療連携拠点病院を核として、地域が連携した医療提供体制の確保等を図るとともに、普及啓発や人材育成などを実施する。

- 1 委託先 愛媛大学医学部附属病院(肝疾患診療連携拠点病院)
- 2 事業内容
 - (1)肝疾患診療相談センター運営事業
 - (2)連絡協議会の開催 拠点病院と肝疾患専門医療機関(14医療機関)
 - (3)研修会の実施 肝炎医療コーディネーター及び保健師コーディネーターの養成研修
 - (4)啓発活動の実施 肝臓週間に合わせた街頭キャンペーン等
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

肝炎ウイルス検査推進事業費

5, 923

肝がん死亡率全国上位からの脱却を目指すため、肝炎ウイルス検査を受検する機会があることの普及啓発を強化することにより、肝炎の早期発見等につなげる。

- 1 肝炎ウイルス検査受検勧奨事業(国1/2、県1/2)
 - (1)職域等肝炎ウイルス検査受検勧奨
 - (2)出張型肝炎相談・セミナー
- 2 出張型肝炎ウイルス検査事業(国65%、県35%)
 - (1)出張型肝炎ウイルス検査
 - (2)職域地域連携出張型肝炎ウイルス検査

地域自殺対策強化事業費

16, 472

- 1 県事業
 - (1)相談支援等強化事業(国1/2、県1/2)
 - (2)普及啓発事業(国1/2、県1/2)
 - (3)人材養成事業(国1/2、県1/2)
 - (4)若年層対策事業(国2/3、県1/3)
 - (5)自殺未遂者支援事業(国2/3、県1/3)
- 2 市町事業
 - (1)対面相談事業(国1/2、市町1/2)
 - (2)人材養成事業(国1/2、市町1/2)
 - (3)普及啓発事業(国1/2、市町1/2)
 - (4)若年層対策事業(国2/3、市町1/3)
 - (5)自殺未遂者支援事業(国2/3、市町1/3)
 - (6)自殺未遂者支援・連携体制構築事業(国10/10)

地域自殺対策推進センター運営事業費

3, 216

地域自殺対策推進センターを設置し、地域における自殺対策の総合的な支援体制を整備し、自殺を考えている者、自殺未遂者及び自死遺族等に対する支援の充実を図る。

- 1 設置場所 心と体の健康センター、各保健所
- 2 実施事業
 - (1)情報分析・情報提供機能強化事業
 - ・ 地域自殺対策検討連絡会、ワーキング部会の開催
 - (2)相談支援事業
 - ・ 自殺対策専門相談員等による電話・面接相談、訪問、検討会の開催等
 - (3)人材育成事業
 - ・ 自死遺族の支援者育成のための研修会の実施等
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

自殺相談対策連携強化事業費

8, 794

- 1 自殺相談窓口強化事業
 - (1)夜間電話相談体制の強化(委託)
 - 対応時間 平日夜間17:00～翌日9:00、休日9:00～翌日9:00
 - (2)自殺相談対応に係る実態調査
 - (3)県機関を一本化したナビダイヤルの導入
 - 事業内容 相談電話を昼間は県保健所等、夜間は委託先窓口へ転送
- 2 民間団体との連携強化
 - 事業内容 民間のノウハウを活用し、県内4団体へ自殺対策事業を委託
- 3 負担区分 国1/2、県1/2(一部 国2/3、県1/3)

精神科救急医療システム整備費

40, 044

- 1 精神科救急医療情報センター(救急窓口)の運営
 - (1)設置場所 心と体の健康センター(中予)、民間事業者へ委託(南予)
 - (2)対象圏域 中予及び南予圏域
 - (3)運営
 - 中予圏域 休日:9:00～17:00 平日夜間:17:00～22:00
 - 南予圏域 休日:9:00～翌日9:00 平日夜間:17:00～翌日9:00
 - (4)機能 相談、カウンセリング、救急医療施設の受入手配等
- 2 精神科救急医療施設(輪番病院)運営の委託
 - (1)委託先
 - 中予圏域 7精神科病院
 - 南予圏域 4精神科病院
 - (2)対応時間
 - 中予圏域 休日:9:00～17:00 平日夜間:17:00～22:00
 - 南予圏域 休日:9:00～翌日9:00 平日夜間:17:00～翌日9:00
- 3 精神科救急医療体制連絡調整委員会及びワーキング部会の開催
- 4 負担区分 国1/2、県1/2

二次救急精神科医療支援体制整備事業費

45, 283

二次救急医療機関へ搬送された精神疾患患者を精神科病院が受入支援する体制を構築することにより、二次救急医療機関の負担軽減を図る。

- 1 受入体制
平日:22:00～翌日9:00 休日:17:00～翌日9:00
- 2 二次救急医療機関からの受入対応を行う情報センターの運営(委託)
- 3 精神科病院に対する受入対応経費の補助
- 4 精神科病院への精神疾患患者の搬送
- 5 二次救急精神科医療支援体制運営委員会の開催(年4回)
(地域医療介護総合確保基金を充当)

ひきこもり対策推進事業費

7, 695

ひきこもり対策を推進するため、第一次相談窓口として「ひきこもり相談室」を設け、相談の内容に応じて対象者を医療・保健・福祉・教育・労働等の適切な関係機関につなげる体制を整備する。

- 1 ひきこもり相談室(第一次相談窓口)の運営
(1)設置場所 心と体の健康センター (3)相談室の体制 相談員2人(嘱託)
(2)運営 平日:9:00～17:00
- 2 ひきこもり対策連絡協議会の開催
(1)構成 保健所、精神科病院協会、福祉総合支援センター等
(2)開催回数 年2回
- 3 普及啓発・研修の実施
- 4 負担区分 国1/2、県1/2

認知症医療体制整備推進事業費

28, 186

- 1 認知症患者医療センターの運営委託
(1)委託内容 専門医療相談窓口の設置、認知症専門医療の提供、かかりつけ医等への研修会の開催など
(2)委託先 ○中核センター 愛媛大学医学部附属病院
○地域拠点センター(各保健医療圏に指定)
四国中央病院(宇摩)、十全ユリノキ病院(新居浜・西条)、正光会今治病院(今治)、
砥部病院(松山)、真網代くじらリハビリテーション病院(八幡浜・大洲)、
正光会宇和島病院(宇和島)
- 2 負担区分 国1/2、県1/2

DPAT体制整備事業費

4, 520

自然災害等において、迅速に災害時の精神医療活動を支援するとともに、被災地域の一般住民や支援者を対象に、専門的な心のケアに関する対応を円滑に行うため、DPATを整備する。

- 1 行政機関、精神科医等からなる運営委員会及びワーキング部会の開催
- 2 研修・訓練
DPAT登録者研修会の開催、活動訓練、先遣隊の技能向上、資機材の整備
- 3 DPAT調整本部員の資質向上、災害精神保健等に関する相談体制の強化
- 4 災害時こころの情報支援センター及びDPAT事務局との連携
- 5 負担区分 国1/2、県1/2

依存症対策地域連携強化事業費

4, 336

県・医療機関・民間支援団体等の関係機関が連携し、アルコール、薬物、ギャンブルの各依存症患者や家族が安心して暮らすことのできる支援体制の構築を図る。

- 1 医療提供体制確保事業
・治療拠点機関による県内精神科・内科医師を対象とした研修会の実施
- 2 相談支援事業
・心と体の健康センター(個別相談、集団プログラム、家族支援)
- 3 依存症対策推進に係る連携会議の開催(年2回)
- 4 依存症対策研修の実施
- 5 普及啓発活動の実施
- 6 負担区分 国1/2、県1/2

被災地こころのケア体制整備事業費

1, 817

被災者及び支援者の中長期的な心のケアのため、被災地での相談窓口の設置を継続する。

- 1 こころの保健室の開設(月2回)
(1)開設場所 宇和島市、大洲市、西予市
(2)委託先 (一社)日本精神科看護協会愛媛県支部、(一社)県精神保健福祉士会
- 2 負担区分 国10/10

県民健康づくり運動推進事業費

3, 415

- 1 県民健康づくり運動推進会議の運営
・会員数 114団体(保健・医療団体ほか)
- 2 地域における健康づくり運動の推進
(1)県民健康づくり運動地域推進会議の運営
(2)県計画の周知啓発及び市町計画の推進支援
- 3 受動喫煙対策推進事業
(1)受動喫煙対策指導業務
(2)周知用リーフレット等作成(国1/2)
- 4 食育月間(6月)・食育の日(毎月19日)推進事業
(1)「愛顔のE-IYOプロジェクト」の推進
・6保健所で各1回実施
・働く世代などを対象とした講話等
(2)食育推進普及啓発(第3次食育計画の周知啓発)
(3)市町における食育推進計画の推進支援
- 5 地域保健研究集会の開催

歯と口腔の健康づくり推進費

11, 627

乳幼児期から高齢期までのライフステージ等を通じて、歯と口腔の健康づくりに継続的に取り組むとともに、全身の健康づくりとの関連を踏まえた施策を実施する。

- 1 ライフステージ等に応じた切れ目のない歯と口腔の健康づくりの推進
(1)啓発コンクール事業
(2)歯科疾患等予防対策
・歯科保健指導事業
・フッ化物洗口普及事業
・マウスガード普及事業(国1/2、県1/2)
・働く世代の歯と口腔の健康づくり事業(国1/2、県1/2)
・リスク児(者)支援事業(国1/2、県1/2)
(3)口腔機能向上対策
・施設における口腔保健向上事業(国1/2、県1/2)
・愛媛の口腔ケアを考える研修会(国1/2、県1/2)
- 2 歯と口腔の健康づくり推進のための基盤整備・連携推進
(1)医科歯科・病診連携推進
・歯科・全身疾患等病診連携推進事業(国定額)
(2)関係機関との連携推進・支援
(3)歯と口腔の健康づくり月間等普及啓発事業
(4)関係者のレベルアップ
・歯科口腔保健担当者研修会
・歯科衛生士資質向上事業(国定額)
(5)歯科保健推進部会(国定額)

ビッグデータ活用県民健康づくり事業費

7, 933

国保及び協会けんぽのビッグデータを活用し、地域特性に応じた疾病予防や健康づくりを推進する。

- 1 ビッグデータ活用県民健康づくり協議会の開催(年2回)
構成員 20人(県、市町、専門家、保険者など)
- 2 ビッグデータ活用研修会の開催(年1回)
対象者 100人(県、市町職員など)
- 3 特定健診・医療・介護のビッグデータの分析(愛媛大学へ委託)
- 4 ビッグデータを活用した地域健康づくり事業の実施(県6保健所)
客観的データに基づき市町等の実施する生活習慣病対策を支援

職場環境改善健康づくり推進事業費(中予)

783

中予地域の企業・事業所における健康づくりの機運醸成と健康づくりを推進する。

- 1 運営会議の設置・開催(年2回)
- 2 職場対抗ヘルスアップ選手権の開催
局管内事業所5人を1チームとして、チーム競技種目と健康づくりの取組みを競う。
- 3 健康フェスタin中予の開催
表彰式、運動イベント、パネル展等

◎ スマートヘルスケア推進事業費

14, 794

[債務負担行為限度額 219, 932]

健康寿命の延伸や医療費の適正化のため、健診データ等を活用したスマホ健康アプリの導入により、利用者の健康意識の向上や生活習慣の改善を図る。

- 1 スマホ健康アプリの導入
(1)対象者 国民健康保険被保険者
(2)内容 健診結果の閲覧、イベント等の機会提供、
個人に応じた生活習慣の改善提案、ヘルスケアポイントの付与等
- 2 契約方法 医療費抑制額に応じて報酬を支払う成果連動型委託契約を導入
- 3 事業期間 2～5年度

食の安全・安心推進事業費

1,766

愛媛県食の安全安心推進条例に基づき策定した計画の総合的な推進を図るとともに県HACCP制度の普及を図る。

- | | |
|---|---|
| 1 食の安全・安心情報提供事業
食の安全・安心県民講座の開催、食中毒や不良食品の回収情報を食品関連事業者等に伝達 | 3 推進計画等周知啓発事業
県食の安全安心推進計画の具体的施策の周知啓発のため、県内5か所で説明会を開催 |
| 2 県食の安全安心推進県民会議運営事業
委員10人、年2回 | 4 県HACCP認証制度推進事業 |

◎ 動物愛護推進事業費

10,901

動物愛護管理法の改正を機に、県民に対する動物の適正飼育の啓発及び地域猫活動等の取組みを強化し、犬猫殺処分数の早期抑制を図る。

- 適切な動物との関わり方に関する啓発
適正飼育、地域猫活動の啓発資料作成、啓発講座やふれあい教室等の開催
- 「動物愛護サポーター制度」導入事業
賛同企業の協力を受けて周知や事業の実施
- ミルクボランティア事業
ボランティアによる生後間もない動物の飼育協力
- 飼い主のいない猫対策事業
(1)地域猫活動推進モデル事業の実施
モデル地区での不妊去勢手術支援、人材育成、事例集の作成
(2)地域猫への不妊去勢手術等に対する補助
・補助先 県獣医師会、市町
(「三浦保」愛基金を充当)

地域医療学講座設置事業費

19,000

愛媛大学に県からの寄附による専門講座を設置し、医療環境の充実、医療レベルの向上、地域住民の健康増進を図るとともに、県立南宇和病院にサテライトセンターを設置する。

- 設置期間 5年間(30～4年度)
- 財政支援 県から愛媛大学への寄附金の支出 年16,000千円
サテライトセンターの設置委託料 3,000千円
- 事業内容 愛媛大学医学部内に地域医療学講座を設置するとともに、へき地にある公立病院等に立ち上げた地域サテライトセンターを活動拠点に、診療を通じた地域医療に関する研究、学生への講義・実施研修等を実施
(地域医療介護総合確保基金を充当)

医師育成キャリア支援事業費

72,634

愛媛大学医学部附属病院に地域医療支援センターを設置・運営し、若手医師(奨学生医師)及び医学生のカリヤ形成や地域医療に従事する医師の支援等を図る。

- 地域医療支援センター運営委託事業(愛媛大学に委託)
事業内容
・若手医師や医学生のキャリア形成支援
・地域医療関係者との協力関係の構築
・医学生サマーセミナー等の開催
・臨床研修医の確保対策
・医師不足病院への支援、把握
- 愛媛医療人材ネットワーク事業
事業内容
・愛媛医療人材ネットワーク登録者名簿の作成、幹事学生会の開催
(地域医療介護総合確保基金を充当)

○ 医師確保対策推進事業費

22, 635

深刻化する県内の医師不足及び医師偏在の解消を図るため、県内外の医療機関を退職する医師等と県内の医療機関とのマッチングや医師の県内定着を促進する。

- 1 愛媛プラチナドクターバンク実施事業
県内外の医療機関を退職(退官)する医師と医師不足地域とのマッチング
・内 容 職業紹介責任者(1人)の設置
・委託先 県医師会
- 2 地域医療キャリア形成支援センターの設置
自治医科大学卒業医師等の県立中央病院での採用及びキャリア形成の支援
・場 所 県立中央病院内
・内 容 義務年限終了後の自治医科大学卒業医師等の配置調整等
- 3 女性医師等の就労支援、臨床研修医の確保、若手医師等の定着支援
- 4 産科医等確保支援事業
県内で特に不足している産科の医療提供体制の強化
・実施主体 愛媛大学
・補助対象 産科医等をめざす研修医や学生に対する研修に要する経費
・補助率 県10/10
(地域医療介護総合確保基金を充当)

地域医療体制確保医師派遣事業費

152, 624

診療機能の維持・確保が困難な状況にある地域において医師派遣の仕組みを構築し、圏域ごとに自立した医療提供体制の整備を図る。

- 1 実施主体 郡市医師会
- 2 事業内容 医師派遣ニーズがある「要支援医療機関」、医師派遣に協力する「協力医療機関」の需給状況にあわせて、郡市医師会を含む三者で調整のうえ、医師派遣を決定し、協力医療機関に対し医師派遣調整金を支給
(地域医療介護総合確保基金を充当)

地域小児・周産期学講座設置事業費

48, 800

[債務負担行為限度額 195, 200]

愛媛大学に県からの寄附による専門講座を設置し、小児・周産期医療に係る研究等を行い、地域のニーズに応える小児・周産期医療の体制の構築を図る。

- 1 設置期間 5年間(2~6年度)
- 2 財政支援 県から愛媛大学への寄附金の支出 年48,800千円
- 3 事業内容 愛媛大学医学部内に地域小児・周産期学講座を設置するとともに、県立南宇和病院、県立新居浜病院及び松山市急患医療センターに設置したサテライトセンターを活動拠点に、小児・周産期医療システム、教育システムの研究等を実施

へき地医療対策費

30, 998

- 1 へき地診療所運営費補助事業
(1)対 象 国庫補助等を受けて設置したへき地診療所(国保直営は除く)又はへき地において唯一の医療機関である診療所
(2)補助金 赤字額×2/3 (民間は1/3)
(3)交付先 市町(今治市、八幡浜市、大洲市、上島町)、民間((医)友朋会、(医)あじき医院)
- 2 診療船済生丸運営費補助事業
岡山、広島、香川、愛媛の4県が同額を補助
(1)交付先 (福)恩賜財団済生会支部愛媛県済生会
(2)事 業 島しょ・へき地の巡回診療

へき地医療支援事業費

22, 540

- 1 へき地医療支援機構運営事業(一部国1/2、県1/2)
(1)構 成 ・専任担当者(県立中央病院医師) 2人 ・へき地医療支援計画策定等会議 13人
(2)役 割 へき地医療拠点病院に対する医師派遣の要請、へき地診療所への派遣業務に係る調整等
- 2 へき地医療拠点病院運営事業(国1/2、県1/2)
(1)指定病院 県立中央病院等11病院
(2)役 割 へき地診療所等への医師等の派遣、技術指導、援助、派遣医師の確保等

がん対策強化推進費

96, 551

がん対策基本法に基づき策定した、県がん対策推進計画を総合的に推進するための経費

- 1 県がん対策推進委員会及び専門部会の設置、運営
- 2 科学的根拠に基づくがん情報普及啓発事業(国1/2、県1/2)
- 3 がん相談・情報提供支援事業(国1/2、県1/2)
 - (1)実施方法 がん患者団体(NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会)に委託
 - (2)事業内容 がん患者サロンへの支援等
- 4 緩和ケア普及推進事業(国1/2、県1/2)
 - (1)実施方法 四国がんセンターに委託
 - (2)事業内容 緩和ケア推進センターにて、緩和ケアに関する研修の実施等
- 5 がん医療体制整備事業費補助金(国1/2、県1/2)
 - (1)補助対象 がん診療連携拠点病院(5病院)
 - (2)対象事業 県がん対策推進計画に基づき実施する事業
- 6 がん医療の地域連携強化事業(国1/2、県1/2)
 - (1)実施方法 四国がんセンターに委託
 - (2)事業内容 コーディネーターによる状況にあった地域医療サービス及び医療機関の紹介等
- 7 若年末期がん患者の在宅療養支援事業
 - (1)補助対象 市町
 - (2)対象経費 若年末期がん患者が在宅療養する際に受けた介護サービスに要する費用
- 8 がん登録推進事業(一部国1/2、県1/2)
 - (1)実施方法 四国がんセンターに委託
 - (2)事業内容 がん登録制度の運営

救急医療対策事業費

80, 058

救急医療の確保を図るため、二次救急医療体制の整備運営に対して助成等を行う。

- 1 病院群輪番体制の整備(県立病院の補助)
- 2 小児救急医療体制の整備
- 3 県救急医療対策協議会の運営
- 4 二次救急医療体制の支援
- 5 二次救急医療機関勤務環境改善
- 6 広域救急医療体制の構築
(地域医療介護総合確保基金を充当)

小児救急医療電話相談事業費

21, 523

小児の急な病気や怪我の相談に、医師や看護師が電話で対応することにより、育児不安の緩和や症状に応じた適切な受診を促し、患者や医療機関の負担軽減を図る。

- 1 小児救急医療電話相談事業 平日 19:00～翌朝8:00(13時間)
土曜日 13:00～翌朝8:00(19時間)
日・祝日 8:00～翌朝8:00(24時間)
- 2 運営協議会の開催 年2回 具体的な事業の運営方針や課題等の検討
- 3 広報活動 県や市町の広報誌の活用やチラシの配布等
(地域医療介護総合確保基金を充当)

消防防災ヘリコプター搭乗医師等確保事業費

1, 434

医師等が消防防災ヘリコプターに搭乗して救急現場に出動し、救命救急措置等を行った上で患者を医療機関に搬送することにより、救急患者の救命率の向上等を図る。

- 1 ヘリコプター搭乗医師等確保事業
県立中央病院が行う搭乗医師・看護師の派遣に関する人件費、搭乗医師等の傷害保険への加入等
- 2 救急用資機材管理事業
医療機器(患者監視モニター等)に係る定期点検等

○ 在宅医療普及推進事業費

58, 261

在宅医療推進のための研修会開催、住民への普及啓発の推進等により医療提供体制の構築に取り組みとともに、島しょ部の医療提供体制の確保のため連絡船を更新する。

- 1 県在宅医療・訪問看護推進協議会の設置・運営
在宅医療・訪問看護の確保及び連携体制の構築に関する課題の抽出と対応方策の検討
- 2 在宅医療推進事業
在宅医療の課題への対応を検討する協議会や各種研修等の開催経費への補助
- 3 島しょ部医療体制確保事業
松山市の離島におけるへき地診療所の医療提供体制の確保のための連絡船の更新
(地域医療介護総合確保基金を充当)

在宅医療連携体制構築事業費

70, 820

在宅医療に携わる多職種の支援や在宅医療連携拠点の運営支援により、在宅医療の提供体制の充実・強化を図る。

1 地域医療連携体制促進事業

- (1)実施主体 愛媛労災病院
- (2)事業内容 地域医療連携室等の新設又は拡充

2 在宅医療連携拠点運営支援事業

- (1)実施主体 松山市医師会、HITO病院
- (2)事業内容 在宅医療支援センターの運営、地域包括ケアステーションの整備・運営

3 在宅歯科医療支援センター運営支援事業

- (1)実施主体 県歯科医師会
- (2)事業内容 在宅歯科医療支援センターの運営
(地域医療介護総合確保基金を充当)

○ 災害医療対策事業費

30, 568

1 災害医療体制強化事業

- (1)県災害医療対策協議会の運営(委員18人、年2回)
- (2)地域災害医療対策会議の運営
 - ① 二次医療圏域ごとの医療救護活動の方針検討
 - ② 災害発生時の業務調整等を行うロジスティック(後方支援)要員の養成
 - ③ 災害時保健医療活動の業務調整に特化した研修及び運営訓練を開催(6圏域各1回)
- (3)災害時本部機能強化事業(情報通信機器の維持管理、広域災害救急医療システムの入力訓練等)
- (4)地域別災害医療従事者研修の実施
- (5)県災害医療研修の実施
- (6)DMAT支援チーム研修の実施

2 DMAT活動支援事業

- (1)DMATの活動経費に係る費用弁償(要請により派遣された活動費)
- (2)防災訓練等参加支援事業(国主催の総合防災訓練への参加)(国10/10)
- (3)愛媛DMAT連絡協議会の運営(17人、年2回)
- (4)DMAT整備強化事業
DMATを新規養成する病院に対し、資機材及び出動車両に係る経費への補助

広域災害・救急等医療情報システム運営費

23, 115

県民に幅広い医療情報を提供するとともに、大規模災害時の広域的な医療情報の収集による医療支援体制の確保を図る。

- 1 参加機関 199機関(医療機関138、消防機関14、医師会13、行政機関等34)
- 2 提供情報
 - ・救急システム(国1/3、県2/3)
医療機関データベース、休日夜間当番医情報
搬送支援機能(救急搬送時の救急隊間、医療機関との情報共有機能等)、関係機関情報
 - ・広域災害システム(国1/3、県2/3)
災害発生時の支援・要請情報、医療機関の被災情報等
 - ・医療(薬局)機能情報システム
病院、診療所、助産所、薬局に係る情報

◎ 広域災害・救急等医療情報システム更新費

239, 267

効率的かつ効果的な災害・救急医療提供体制を確保するため、現在運用している県広域災害・救急等医療情報システムの更新整備を行う。

- 1 実施主体 県(公募型プロポーザルで委託)
 - 2 事業内容
 - ・5Gを活用した映像伝送機能の付加
 - ・システム再構築
 - ・再構築システムの保守管理
 - ・現行システムからのデータ移行
 - ・マニュアル作成及び説明会の実施
- (地域医療介護総合確保基金を充当)

在宅歯科医療連携室整備事業費

55, 719

医療・介護との連携窓口や在宅歯科医療に関する支援等を行う在宅歯科医療連携室を整備する。

- 1 事業主体 (一社)県歯科医師会
- 2 対象経費 在宅歯科医療連携室運営に必要な人件費等
- 3 事業内容 在宅歯科医療や口腔ケア指導等の実施歯科等紹介、居宅患者に対する歯科診療者派遣等
(地域医療介護総合確保基金を充当)

医科歯科連携推進事業費

78, 635

医科歯科連携のための歯科衛生士等配置や研修会を開催し、口腔ケアで重要な役割を果たす歯科衛生士や歯科技工士を育成する。

1 医科歯科連携歯科衛生士等配置事業

- (1)実施主体 医療機関
- (2)事業内容 歯科衛生士等の配置

2 歯科医療従事者等人材養成事業

- (1)実施主体 県歯科医師会、松山市歯科医師会
- (2)事業内容 医科歯科連携に係る研修会開催等

3 歯科技工士生涯研修会事業

- (1)実施主体 県歯科技工士会
- (2)事業内容 離職防止、復職支援のための研修会開催

4 歯科衛生士修学復職支援等研修事業

- (1)実施主体 県歯科医師会、松山市歯科医師会
- (2)事業内容 養成校卒業後に指定地域で就職する者に対する奨学金の貸与、口腔ケア研修会開催等
(地域医療介護総合確保基金を充当)

地域医療構想推進費

6, 395

地域医療構想の達成に向けた取組みを推進するため、地域医療構想推進戦略会議等を開催し、効果的な医療提供体制の構築を図る。

1 地域医療構想推進戦略会議(年3回)

- (1)構成 8人(医療機関、医師等養成機関、介護関係機関等)
- (2)内容 医療提供体制の調査・分析、将来あるべき医療提供体制の検討等

2 専門的な検討を行うワーキンググループの設置

3 各構想区域地域医療構想調整会議(年5回)

- (1)構成 構想区域ごとに設置(医療機関、介護関係機関等)
- (2)内容 構想区域ごとの地域医療構想の達成に向けた検討等

4 地域医療構想アドバイザーの活用

(地域医療介護総合確保基金を充当)

救急航空医療学講座設置事業費

48, 800

ドクターヘリの安定的な運航体制を確保するため、愛媛大学との連携のもと、寄附講座を同大学に設置する。

1 設置期間 10年間(28~7年度)

2 財政支援 県から愛媛大学への寄附金の支出 年48,800千円

3 事業内容 愛媛大学医学部内に救急航空医療学講座を設置するとともに、県立中央病院(基地病院)等と連携・協力を図りながら、搭乗医師・看護師の研修プログラムの研究等を行い、持続的な人材育成が可能な体制の構築を目指す。

医療勤務環境改善支援センター運営事業費

5, 151

県医療勤務環境改善支援センターにより各医療機関の勤務環境改善に向けた取組みを総合的に支援する。

1 医療勤務環境改善支援センター運営協議会の運営

2 医療勤務環境改善支援センターの運営

- (1)実施体制 医業経営アドバイザーを配置した窓口により医療機関からの相談に対応
- (2)事業内容 医療機関からの相談対応、勤務環境改善に関する研修会の実施等

3 普及啓発 チラシ・パンフレット等の作成、配布により、センターの活動内容等に関する広報を実施 (地域医療介護総合確保基金を充当)

○ 保健医療計画推進事業費

3, 967

本県において必要な医療の確保や質の高い医療提供体制の構築に向け、第7次保健医療計画に基づく施策を実施する。

1 県保健医療対策協議会の設置及び運営

- (1)委員:21人 (2)検討回数:年4回 (3)検討内容:医療計画の推進、医師確保対策等

2 小児医療部会の設置及び運営(一部国1/2)

- (1)委員:7人 (2)検討回数:年4回 (3)検討内容:医療計画の推進、小児科医の確保策等

3 第7次愛媛県地域保健医療計画の中間見直し

4 医師確保計画及び外来医療計画の作成

5 全国知事会・地域医療研究会への参画

ドクターヘリ運航事業費

246, 279

県内唯一の高度救命救急センターである県立中央病院を基地病院、搭乗医療スタッフの協力等を行う愛媛大学医学部附属病院を基幹連携病院としてドクターヘリを運航し、救急医療体制の充実を図る。

1 ドクターヘリの運航(国1/2、県1/2)

(1)ドクターヘリ運航業務委託

- ・委託先 中日本航空(株)・愛媛航空(株)共同事業体
- ・委託期間 28年2月～3年3月

(2)搭乗医師・看護師等の確保

- ・内容 搭乗医療従事者の人件費

(3)ドクターヘリ運航調整委員会の開催(年2回)

- ・構成 20人(医師会、救急医療機関、消防、警察 など)

2 ドクターヘリの管理

- ・内容 ドクターヘリ格納庫等賃借料、医療機器の消耗部品の購入費 など

3 隣接県等との相互応援等の協議・調整

ドクターヘリ運航更新事業費

[債務負担行為限度額 1, 153, 190]

救急医療体制の充実を図るため、運航会社への運航委託方式によりドクターヘリを運航する。

1 委託期間 3年4月～8年3月

2 運航開始 3年4月

3 事業内容 ドクターヘリの運航

4 積算基礎 国庫補助基準額

5 負担区分 国1/2、県1/2

◎ 遠隔医療支援システム整備モデル事業費

8, 052

医師不足地域等の地域医療体制を確保するため、愛南地域で5Gを活用した高精細映像伝送システム等をモデル的に構築する。

1 5Gを活用した愛南地域遠隔医療システムの整備

- (1)在宅医療連携の支援 5G対応タブレット、映像伝送システムの配備
在宅患者のリアルタイム映像伝送による医療情報の地域共有
- (2)南宇和病院の機能強化 地域医療情報連携システムの配備
指導医が遠隔で助言指導を行う研修体制の整備
県立中央病院との遠隔カンファレンス、遠隔CT画像診断支援等

2 事業期間 2～5年度

(地域医療介護総合確保基金を充当)

院内保育事業運営費補助金

53, 790

看護師等の子育て等による離職を防止し、人材確保のために行う院内保育事業に対する助成。

1 対象施設 民間病院等 12施設 公的病院 3施設

2 負担区分 県2/3(設置者1/3)

(地域医療介護総合確保基金を充当)

看護師等養成所運営費補助金

169, 169

課程区分	養成所数	生徒数
看護 3年(全日制)	8	1,050人
看護 2年(全日制)	1	80人
看護 2年(定時制)	1	120人
准看護師	2	160人
計	12	1,410人

(地域医療介護総合確保基金を充当)

看護師等支援事業費

20, 573

ナースセンターの運営や潜在看護職員の再就職支援、離職防止対策などを行うとともに、看護師養成所の適正な運営や教育内容の充実が図られるよう指導を行う。

1 准看護師試験(一部委託)及び再教育事業

2 県ナースセンターの運営 委託先:(公社)愛媛県看護協会

3 看護ネットワークの構築及び研修会実施

4 就労環境改善のための研修会及び調査 委託先:(公社)愛媛県看護協会

5 看護師養成所の指定・変更承認及び実態調査

6 看護教員養成講習会への研修受講費補助

7 看護職員離職者に対する再就業支援 実施主体:(公社)愛媛県看護協会

(地域医療介護総合確保基金を充当)

看護師等研修事業費

39, 875

看護教育を適切に行うための指導者研修を実施し、質の高い看護職員の養成と県内定着を図るとともに、新人看護職員への研修支援を行う。

- 1 実習指導者講習会の開催 委託先:(公社)愛媛県看護協会へ一部委託
- 2 看護教員継続研修の開催
- 3 新人看護職員研修に対する補助 実施主体:各医療機関
- 4 新人看護職員研修推進協議会の開催及び新人教育責任者研修 委託先:(公社)愛媛県看護協会
- 5 県内定着推進協議会の開催及び看護職員人材派遣研修 実施主体:(公社)愛媛県看護協会(地域医療介護総合確保基金を充当)

看護師等育成強化事業費

780

看護師等の職場定着支援と看護の質確保のため、研修の充実等を図り、各地域における看護力の強化と、より高度な知識と技術を持った人材を育成する。

- 1 事業内容 訪問看護管理者対象の研修(5日間)及び研修検討会を実施
- 2 委託先 (一社)県訪問看護協議会(地域医療介護総合確保基金を充当)

薬剤師支援事業費

14, 839

研修会の開催や復職支援等に取り組む県薬剤師会を支援し、在宅医療に係る薬剤師の育成、薬剤師の確保等を図る。

- 1 実施主体 (一社)県薬剤師会
- 2 事業内容
 - (1)在宅医療支援薬剤師等普及事業
 - ・松山大学共催による在宅医療に係る薬剤師の育成
 - ・在宅薬局支援センターの運営
 - ・居宅医療管理指導等に取り組む薬局研修事業
 - (2)薬剤師確保事業
 - ・未就業女性薬剤師等の復職支援
 - ・在宅医療における薬局間及び薬剤師確保の支援体制の構築(地域医療介護総合確保基金を充当)

血液製剤国内自給献血推進費

2, 446

血液製剤の国内自給を推進するため、原料血漿や輸血用血液の確保のための献血普及活動を推進するとともに、骨髄バンクドナー登録等の促進を図る。

- 1 監視指導
- 2 献血推進計画策定
- 3 血液製剤国内自給推進
- 4 血液製剤適正使用推進
- 5 若年層に対する献血理解促進事業
- 6 骨髄バンク登録推進事業
- 7 骨髄バンクドナー助成

公立大学法人愛媛県立医療技術大学運営費

681, 004

県立医療技術大学の円滑な業務運営を確保するため、運営費の一部を交付するとともに、公立大学法人評価委員会の運営を行う。

- 1 運営費交付金の交付
 - (1)通常分 法人(大学)の基本的運営経費(管理費、教育研究費等)
 - (2)特別分 通常分以外の経費(派遣職員人件費、教員退職手当等)
 - (3)減免分 修学支援制度による減免分
- 2 公立大学法人評価委員会の設置・運営
 - (1)委員構成 5人
 - (2)開催予定 年4回

私立幼稚園運営費補助金

998, 079

私立幼稚園における経営の安定化等を図るための運営費助成

私立幼稚園子育て総合支援事業費

83, 055

私立幼稚園における総合的な子育て支援の拠点としての取組みを促進するため、預かり保育及びその他の子育て支援事業に係る経費の一部を補助する。

- 1 対象者 「預かり保育」を1日平均2時間以上実施し、かつ「子育て相談」事業又は「園舎・園庭の開放」事業と、併せてその他1以上の子育て支援事業を行う私立幼稚園
- 2 補助単価 (1)基本額 1,060千円(認定こども園は1,085千円)
(2)加算額 預かり保育担当教員数及び保育時間に応じて100~1,100千円
- 3 負担区分 国1/2、県1/2

災害救助基金(特別会計) 159, 719
1 災害救助基金積立金(1,384千円)
2 災害救助費(158,335千円)
西日本豪雨災害に対する応急救助(応急仮設住宅、住宅の応急修理)

国民健康保険事業(特別会計) 136, 072, 811
国民健康保険事業の運営
・保険給付費等交付金の交付、後期高齢者支援金の負担、保健事業の実施 等

母子父子寡婦福祉資金(特別会計) 289, 861
1 母子福祉資金(貸付枠 246,454千円)
事業開始、就職支度、住宅、転宅、生活、技能習得、修業、修学、就学支度等(中核市除く)
2 父子福祉資金(貸付枠 30,723千円)
事業開始、就職支度、住宅、転宅、生活、技能習得、修業、修学、就学支度等(中核市除く)
3 寡婦福祉資金(貸付枠 7,682千円)
修業、修学、就学支度等(中核市除く)